## 朝日外為WEB

操作マニュアル

第17.1版

令和7年8月



## 目次

## 目次

1. i	ご利用にあたって	1
1	サービス概要	2
	1.1 サービス内容	
	12 サービスご利用・間	
2	取扱通貨について	3
3	ご利用可能環境について	3
4	セキュリティについて	4
5	操作に必要な ID・パスワード	6
6	適用相場について	6
7	操作方法の概要	7
	7.1 メニュー操作	
	72 ボタンの説用         7.3 操作の流れ	
8	朝日外為WEB ご利用時の注意事項	
9	当金庫からの重要なお知らせ	12
2. 7	ご利用開始までの流れ	14
1	ご利用開始登録の流れ	15
2	ご利用 <b>開</b> 台登録	16
	21 ログインD取得	
	22 電子記明書発行(電子記明書語正サービスのご利用をお申込みのお客さま)	
	23 初回ログイン	25 27
	24 ユーザの追加登録         25 外為トップの初回利用	-
	26 企業	32

27 ユーザへの外為取り 権民党 ニューザー アン・フェー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ	34
3. ログイン	37
<ol> <li>操作手順</li></ol>	38
4. 仕向送金	43
1 概要	44
<ul> <li>2 操作手順</li> <li>21 送金依頼 (画面入力)</li> <li>22 作成中取写 (の修正・削除</li> <li>23 取引 照会</li> <li>24 承認待ち取りの引戻し</li> </ul>	45 53 55
5. 輸入信用状開設	60
1 概要	61
<ul><li>2 操作手順</li><li>21 開發效頼 (画面入力)</li><li>22 取5 照会</li><li>6. 輸入信用状条件変更</li></ul>	
1 概要	71
2 操作手順	72
7. 承認	77
1 概要	78
2 操作手順(仕向送金を例とします)         21 取りの承認/差戻し	
	86

1 概要	87
<ul><li>2 操作手順</li><li>21 操作履歴院会</li><li>22 企業情報の原会・変更</li><li>23 外為権限の原会・変更</li></ul>	88 89
9. 便利な機能	94
<ol> <li>テンプレート機能</li></ol>	96
2 複写作成         21 複写作成 (仕向送金を例とします)	
3 一時保存	100
<ul><li>4 添付ファイルの登録・照会</li><li>4.1 添付ファイルの登録(仕向送金を例とします)</li><li>4.2 添付ファイルの照会</li></ul>	102
5 計算書ファイル (PDF 形式) の照会	105
6 銀汀情報の取得・検索 6.1 IBANから銀汀情 関係 62 BCから銀汀 情 関係 6.3 銀汀情 を入力して検索 6.4 直接入力	108 109 110
10. 印刷・ファイル取得	114
1 ED刷	115
2 ファイル取得	116
11. パスワードの管理	117
1 概要	118
2 操作手順	119

<ul><li>2.1 ご自身のパスワード変更</li><li>2.2 パスワード利用停止の解除(マスターユーザ/管理者ユーザ)</li><li>2.3 他ユーザのパスワード変更(マスターユーザ/管理者ユーザ)</li><li>2.4 パスワード3・</li><li>2.5 パスワード有効期限切れ</li></ul>	121 123 127
12. メールアドレスの変更	130
1 概要	131
2 操作手順	131
21 メールアドレスの窓更(マスターユーザ/管理者ユーザ)	131

## 1. ご利用にあたって

# 1 サービス概要

## 1.1 サービス内容

朝日外為WEBは、以下のサービスをご提供します。

サービス項目	サービス概要		
仕向送金	海外金融機関宛て送金依頼、および国内金融機関宛て外貨建て送金依頼を 行うことができます		
輸入信用状開設・条件変更	輸入信用状の開設依頼、および条件変更依頼を行うことができます		

## 1.2 サービスご利用時間

## 1.2.1 サービス利用可能時間(金融機関営業日)

サービスの種類・内容	サービス利用可能時間(金融機関営業日)
仕向送金	8:00~23:00
輸入信用状開設	8:00~23:00
輸入信用状条件変更	8:00~23:00

※休祝日、および12月31日~1月3日を除く月曜日~金曜日(金融機関営業日)にご利用いただけます。

## 1.2.2 受付時限

サービスの種類・内容	受付時限
仕向送金	8:00~23:00 【当日指定扱い】 海外送金(アメリカ・ドル、ユーロ)は12:00まで 海外送金(アメリカ・ドル、ユーロ以外)および国内外貨送金 は9:30まで
輸入信用状開設・条件変更	8:00~23:00 当日指定日扱いのお取扱いはできません 翌営業日受付は15:00まで

<sup>※</sup>システムメンテナンス等により、一時的にサービスを休止することがあります。

## 2

## 取扱通貨について

VIZ(b	サービスの種類		
<b>通貨</b>	仕向送金	輸入信用状態・条件変更	
日本円	0	0	
アメリカ・ドル	0	0	
ユーロ	0	0	
スターリング・ポンド	0	0	
カナダ・ドル	0	×	
オーストラリア・ドル	0	0	
スイス・フラン	0	0	
ニュージーランド・ドル	0	×	
デンマーク・クローネ	0	×	
ノルウェー・クローネ	0	×	
スウェーデン・クローネ	0	×	
香港ドル	0	0	
シンガポール・ドル	0	0	
タイ・バーツ	0	×	
※ 中国元	0	×	
※ 韓国ウォン	0	×	
※ 台湾ドル	0	×	
※ インドネシア・ルピア	0	×	
※ マレーシア・リンギット	0	×	

#### ⚠ 注意

- → 中国元につきましては、中国国内の諸規則により受取人が送金代り金を受領できない場合がございますので、事前に受取人へ確認されることを推奨いたします。
- ・ 韓国ウォン、台湾ドル、インドネシア・ルピア、マレーシア・リンギットにつきましては相場を公表しておりません。お手数ですが事前にお取引店へご確認をお願いいたします。

## 3

## ご利用可能環境について

朝日外為WEBをご利用いただくためには、ご利用可能な環境を準備いただく必要があります。

- ■インターネット経由のメールが受信できるメールアドレスをお持ちであること。
- ■OS とブラウザ(インターネットに接続するソフト)のバージョンは朝日外為 WEB のホームページ (https://www.asahi-shinkin.co.jp/agw/index/html) をご参照ください。
- ■PDF 形式ファイルをご閲覧いただくには、アドビ システムズ社の「Adobe Reader」が必要です。



## セキュリティについて

#### ■256 ビットSSL (Secure Socket Layer) 暗号化方式

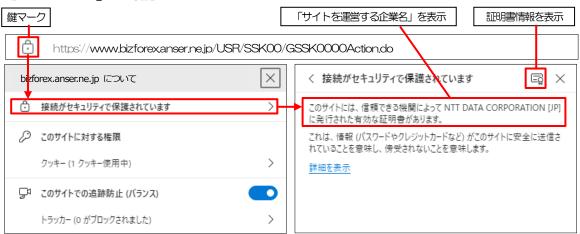
朝日外為 WEB では、本サービスを安心してご利用いただけるよう、お客さまのパソコンと朝日外為 WEB のコンピュータ間のデータ通信について、暗号化技術の 256 ビット SSL 暗号化方式を採用し、情報の漏えい・書換え等を防止します。

#### ■EVSSL 証明書 (Extended Validation) の採用

朝日外為 WEB では、フィッシング詐欺への対策として EVSSL 証明書を採用し、セキュリティの強化を行っています。

EVSSL 証明書は、実在する運営者の正当なサイトであることを証明する規格で、アドレスバーの鍵マークを押下することで、「サイトを運営する企業名」が確認可能です。

#### 【Microsoft Edge の場合】



※Microsoft Edge 以外のブラウザをご利用の場合も、同様に鍵マークを押下することで証明書情報が確認可能です。

#### ⚠ 注意

▶アドレスバーに鍵マークが表示されない、もしくは「サイトを運営する企業名」が当金庫でないなどの場合は、当金庫に見せかけたフィッシング(不正)サイトですので絶対にログインしないようご注意ください。

#### ■ログインID、パスワード等の管理について

「ログインID」「ログインパスワード」「確認用パスワード」は、お客さまがご本人であることを確認するための重要な情報です。これらを第三者に知られること、またお忘れになることのないようご注意ください。定期的にパスワードを変更していただくとより安全性が高まります。



- ▶パスワードは絶対に第三者へ教えないでください。当金庫職員がお客さまにパスワードをお尋ねしたり、 電子メールなどでパスワードの入力をお願いしたりすることはありません。
- ▶パスワードを第三者へ知られた、もしくは知られたと思われる場合、直ちにお客さまご自身でパスワードの変更手続きを行ってください。

>>>> パスワードの変更方法については P.119 参照

#### ■電子証明書認証サービスの採用

あらかじめお客さまのパソコンに当金庫が発行する電子証明書を取得・格納し、ログイン時に電子証明書、およびログインパスワードによりお客さま本人であることを確認するものです。

ID・パスワード情報が漏えいした場合でも、電子証明書が格納されたパソコンを使用しない限りサービスを利用することができないため、第三者による不正利用のリスクを軽減し、セキュリティ面の強化がはかれます。なお、電子証明書認証サービスのご利用を希望される場合は、当金庫所定の「朝日外為WEB利用申込書」にてお申し出ください。ご利用に際し追加料金は発生しません。

#### ■ソフトウェアキーボードについて

パスワード入力時に、ソフトウェアキーボードを利用することにより、キーボードの入力情報を盗みとるタイプのスパイウェアからパスワードを守ることができます。

#### ⚠ 注意

- ▶ソフトウェアキーボードを使用されても、スパイウェアによる被害を受ける恐れが完全に無くなるわけではありません。
- ▶スパイウェア対応のウィルスソフトをご利用ください。また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態に更新し、定期的にウィルスチェックを実施していただきますようお願いします。

#### ■取引のご確認

ご依頼いただいたお取引の受付や処理結果等の重要なご通知やご案内を電子メールでご案内いたします。 お客さまがお取引を実施したにもかかわらず電子メールを受信しない場合、またはお心当たりのない電子 メールが届いた場合は、お取引店または国際業務部までご連絡ください。

#### ■ご利用履歴の表示

ヘッダ(画面右上)に直近3回のご利用日時を表示し、不正に利用されていないかを確認できます。 ご利用日時にお心当たりのない場合は、お取引店または国際業務部までご連絡ください。

#### ■タイムアウトについて

ログアウトをしないで長時間席を離れた場合のセキュリティ対策として、最後の操作から一定時間が経過すると操作が継続できなくなる設定を行っています。

操作が継続できなくなった場合は、一度ログイン画面に戻ってから再度ログインしてください。 また、朝日外為WEBを終了する際に、ブラウザの「×(閉じる)」ボタンを使用すると一定時間利用ができなくなりますので、必ず「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

## 5

## 操作に必要な ID・パスワード

#### ■ログインID

お客さまの名前に代わるものであり、ログインの際などに必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

#### ■ログインパスワード

ログインする際に、ご本人様であることを確認するためのパスワードです。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

なお、同じ文字を連続して入力することはできません。

#### ■確認用パスワード

仕向送金などの依頼内容を入力後、当金庫へのお取引の申込を行う際、承認操作を行う際、また各種登録 事項の変更(メールアドレス等)を行う際などに入力が必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

なお、同じ文字を連続して入力することはできません。

#### ⚠ 注意

- ▶「ログインID」、「ログインパスワード」、「確認用パスワード」は、それぞれ異なる文字列をご指定いただく必要があります。
- ▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」を6回連続で間違えた場合は、安全のため自動的にサービスの利用を停止します。

>>>> パスワードの管理手順(変更、利用停止解除)については P.117 参照

# 6

## 適用相場について

- ■為替予約のご指定がある場合は、為替予約の相場を適用します。
- ■為替予約のご指定がない場合は、当日の公表相場を適用します。ただし、金額がUS\$100,000.00 相当額以上の場合は、送金指定日における個別仕切相場を適用します。(お客さまに連絡はいたしません)



## 操作方法の概要

## 7.1 メニュー操作

メニュー操作は以下の2とおりの方法があり、どちらでも操作が可能です。 ここでは、「仕向送金」メニューから「送金依頼 [画面入力]」を選択する場合の例を説明します。 (以下、本マニュアルのメニュー操作は、すべて「メニュー選択方式」での操作手順を記載しています。)

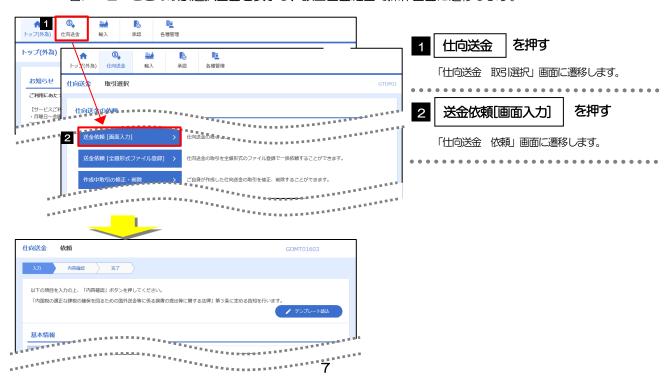
### 7.1.1 メニュー選択方式

メニュー上でのマウス操作により、操作画面に直接遷移します。



## 7.1.2 画面選択方式

各メニューごとの取引選択画面を表示し、該当画面経由で操作画面に遷移します。



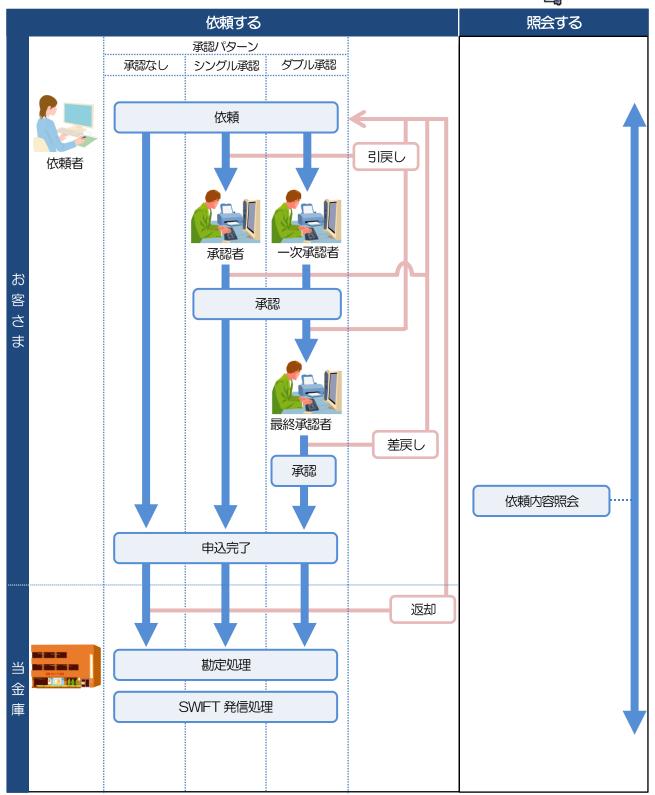
## 7.2 ボタンの説明

朝日外為WEBでは、入力画面に各種のボタン機能を用意しています。 各ボタンの概要は以下のとおりです。(詳細は該当頁をご参照ください。)

			対象サービ	
ボタン	機能概要	共通	仕回送金	輸入信用状
■ テンブレート保存	依頼結果、修正結果、または照会結果画面から、よくある取引の内容をテンプレート(雛型)として登録することができます。 >>>>> P.96 参照	ı	0	0
🎤 テンプレート読込	依頼入力画面から、お客さまがあらかじめ登録したテンプレート(よくある取引の 内容を登録した雛型)を読み込むことで入力の手間を省くことができます。 >>>>> P.97 参照	-	0	0
▶ 複写作成	照会内容を複写/再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。 >>>>> <b>P.99 参照</b>	_	0	0
□ 一時保存	入力を一時中断して保存することができます。中断した取引は作成中取引一覧画面より選択し再開することができます。 >>>>>> P.100 参照	1	0	0
ファイル選択	各種添付書類をPDF または画像形式のファイルで登録することができます。	1	0	0
(IBANから銀行情報取得)	お受取人口座をIBANコードで指定した場合、送金先銀行のBIC (SWIFT) コード や銀行名・住所を自動で入力することができます。  >>>>> P.108 参照	ı	0	_
BICから銀行情報取得	送金先銀行や経由銀行をBIC (SWIFT) コードで指定した場合、銀行名や住所を自動で入力することができます。  >>>> P.109 参照	ı	0	_
Q 受益者証明書	受益者証明書に関する定型文言(信用状条件)が一覧表示されますので、この中から選択することで、自動で入力されます。	ı	_	0
Q その他要求書類	その他の要求書に関する定型文言(信用状条件)が一覧表示されますので、この中から選択することで、自動で入力されます。	1	_	0
➡ 印刷	お客さまのお申込内容(申込書)などを PDF 形式ファイルで印刷できます。 >>>> P.115 参照	0		_
ファイル取得	お客さまのお申込内容(申込書)などをファイルで取得できます。 >>>>> P.116 参照	0		_
	カレンダーが表示されますので、この中から日付を選択することができます。	0	_	_
	マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録(キーロガー)を防ぐことができます。 >>>>> P.4 参照	0	_	
罐択	チェックすると一覧のすべての取引を選択し、チェックを外すとすべての選択を解除します。	0	_	_
全選択(全解除)	ユーザへの外為権限設定時、同一カテゴリ内の全ての権限チェックを一括で設定ま たは解除することができます。	0	_	_

## 7.3 操作の流れ

朝日外為WEBには「取引を依頼する」機能と「取引状況を照会する」機能があります。 取引を依頼する場合、承認パターンにより操作の流れが異なりますのでご注意ください



#### **y**₹

▶承認: 当金庫へのお取引の申込みにあたり、お客さま社内の承認者(承認権限をもつユーザ)が事前にお申込内容を再鑑・承諾することです。

承認には以下のパターンがあり、お客さま社内に適用する承認パターンを業務ごとに選択することができます。

>>>>> P.89 参照

・承認なし : 承認を行うことなく、直接お申込みいただけます。・シングル承認 : お申込みにあたり、承認者 1 名の承認が必要です。・ダブル承認 : お申込みにあたり、承認者 2 名の承認が必要です。

▶引戻し: 承認前の取引を依頼者自身が取下げることです。>>>>> P.58 参照

▶差戻し: 承認不可となった取引を依頼者に差し戻すことです。 >>>> P.79 参照

▶返却 : 当金庫でお取扱いできない取引をお客さまに返却することです。

8

## 朝日外為 WEB ご利用時の注意事項

朝日外為WEBの各サービスご利用にあたっては、下記の事項についてご注意ください。 また、お申込からご利用開始まで約1週間程かかりますので、あらかじめご了承ください。

#### ●仕向送金サービス

- ■依頼人と送金人が同一名義でないお取引は原則としてお取り扱いできません。
- ■諸般の事情によりお客さまの指定日当日にSWFT発信ができない場合がございます。
- ■送金資金のお支払口座は、事前のお申し込みが必要です。
- ■送金資金は送金指定日当日にお支払口座から引き落とします。残高不足などにより引き落としができなかった場合、送金のお取り扱いはいたしません。
- ■10万米ドル相当額以上のお取引には、原則、市場実勢相場を適用します。
- ■送金依頼の際は、送金の内容が確認できる資料等の添付が必要となります。>>>> P.102 参照
- ■当金庫の都合によりお取扱いできない場合がございます。

#### ●輸入信用状サービス

- ■輸入信用状サービスのご利用にあたっては、当金庫の審査が必要となります。審査の結果、ご希望に添えない場合がございます。
- ■諸般の事情によりお客さまの指定日当日にSWIFT 発信ができない場合がございます。



## 当金庫からの重要なお知らせ

「外国為替及び外国貿易法」に基づき、金融機関には制裁措置(対北朝鮮、対イラン等)に対する確認義務が課せられております。つきましては、朝日外為WEBをご利用いただく際には、下記の事項についてご確認ください。

なお、承諾事項は法令の改正等により、変更になることがあります。

※朝日外為 WEB ご利用にあたっては、以下の「承諾事項」をご確認ください。 ※当金庫は、お客さまが「承諾事項」の内容に事前に同意いただけたものとみなします。

### 【承諾事項】

#### ●仕向送金サービスをご利用のお客さまへ

- ■「送金理由」欄に具体的な理由を入力してください。(輸入または仲介貿易取引の決済代金の場合は「具体的な商品名」を入力してください。)
- ■輸入および仲介貿易取引の決済で、商品が以下の品目に該当する場合は、当金庫にて原産地および船積地の確認をさせていただきます。

大変お手数ですが、送金指定日までに「原産地証明書」「売買契約書」「インボイス」「船荷証券」等、原産地および船積地が確認できる資料を、お取引店へご提示ください。

ご不明な点については、お取引店または国際業務部までご連絡ください。

Table 1 Table 1 Table 1 Table 1 Table 2 Tabl				
赤貝	うにの調製品	さるとりいばらの葉	なまこの調製品	
あさり	えび	しじみ	はまぐり	
あわび	かれい	ずわいがに	ひらめ	
うに	けがに	たこ	まつたけ	

■輸入の決済で、「船積地」(仲介貿易の場合は、さらに「貨物の仕向地」)等が北朝鮮の隣接都市の場合、 北朝鮮向けの外国送金でないことを確認させていただきます。

大変にお手数ですが、送金指定日までに「原産地証明書」「売買契約書」「インボイス」「船荷証券」等、船積地等が確認できる資料を、お取引店へご提示ください。

ご不明な点については、お取引店または国際業務部までご連絡ください。

北朝鮮の隣接都市		
国名	都市名	
中国	丹東(Dandong)	
中国	延吉 (Yanji)	
中国	琿春(Hunchun)	

※輸入および仲介貿易取引の決済で、船積地を入力いただく場合は、必ず船積地の属する都市名をご入力ください。

- (注) 船積地とは国名ではなく船積地の属する都市名を指します。
- ■送金理由が輸入決済代金または仲介貿易取引の決済代金で、北朝鮮が原産地または船積地域となる場合には、事前に輸入許可証を確認させていただく必要がございますので、お取引店または国際業務部まで至急ご連絡ください。
- ■「送金理由」欄に具体的な理由が入力されてないものや、輸入または仲介貿易の場合で「具体的な商品名」 の入力がないもの、「原産地および船積地」等が北朝鮮ではないと確認できないもの、「北朝鮮の核関連 計画等に寄与する目的」「イランの核活動等に寄与する目的または大型通常兵器等に関連する活動等に寄 与する目的」で行う送金ではないと確認できないもののお申込は受付できません。

- ■海外送金依頼に関しましては「外国為替及び外国貿易法」に基づく許可等が必要となる場合があります。 また、「外国為替及び外国貿易法」に基づく許可等が不要な場合でも、次の取引に該当しないことを確認 します。
- 資産凍結等の措置の対象者または資産凍結対象国(北朝鮮)に住所もしくは居所を有する自然人もしくは主たる事務所を有する法人その他の団体(当該法人またはその他の団体の海外にある支店、出張所その他事務所を含む)、またはこれにより実質的に支配されている法人その他の団体との間の取引およびこれらの者による取引
- 北朝鮮を原産地、船積地とする輸入および仲介貿易取引
- 北朝鮮を仕向地とする貿易取引
- 北朝鮮 | 丁労働者向け支払いを目的とする取引
- 北朝鮮の核開発、弾道ミサイル関連またはその他大量破壊兵器関連の計画または活動に貢献し得る活動に寄与する目的の取引
- イランの核活動等の供給等に寄与する目的で行う取引または行為
- 資産凍結等の措置の対象となるロシア・ベラルーシの団体(ロシア中央銀行を除く)については、当該 団体により株式の総数または出資の総額の50%以上を直接所有されている団体(本邦内に主たる事務 所を有する団体を除きます)を受取人とする送金取引
- ・ ロシア・ベラルーシに関する規制対象取引に係る送金取引または送金の受領取引

#### ■個人のお客さまへ

2022 年4月1日の改正個人情報保護法の施行に伴い、個人のお客さまより外国送金のお取扱を受けた場合は、お客さまのお名前、住所等の個人情報を外国にある銀行等の第三者に提供することについて同意をいただく際、次の情報を提供することが義務付けられました。

つきましては、外国送金を依頼される場合は、事前に添付の資料をご確認いただきますようお願いいたします。

(お客さまに提供する情報)

- (1) 外国の名称(送金先の外国銀行等が所在する国名)
- (2) 適切かつ合理的な方法により得られた外国における個人情報保護に関する制度に関する情報(送金先の外国銀行等が所在する外国の個人情報保護制度に関する情報)
- (3) 第三者が講じる個人情報保護のための措置に関する情報 (送金先の外国銀行等における個人情報保護措置に関する情報)

詳しくは、当金庫ホームページの朝日外為WEBページにあります下記お知らせをご参照ください。「外国送金取引時における個人情報のお取扱」

#### ●輸入信用状開設・条件変更サービスをご利用のお客さまへ

- ■北朝鮮が原産地または船積地域となる場合には、事前に輸入許可証を確認させていただく必要がございますので、お取引店または国際業務部まで至急ご連絡ください。
- ■「原産地および船積地」等が北朝鮮ではないと確認できないもの、「北朝鮮の核関連計画等に寄与する目的」「イランの核活動等に寄与する目的または大型通常兵器等に関連する活動等に寄与する目的」で行う取引ではないと確認できないもののお申込は受付できません。

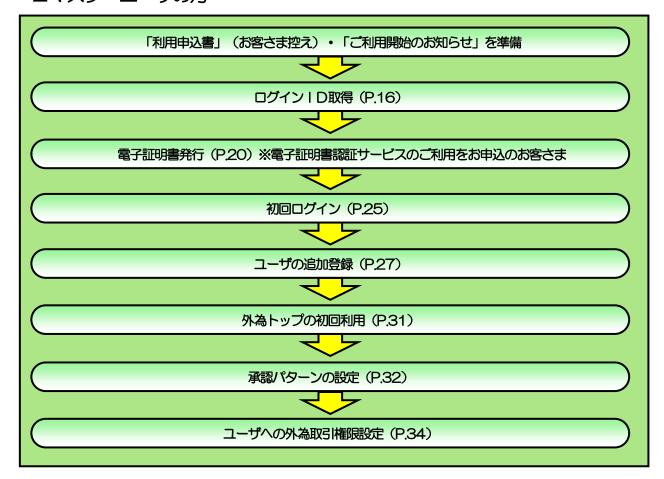
## 2. ご利用開始までの流れ



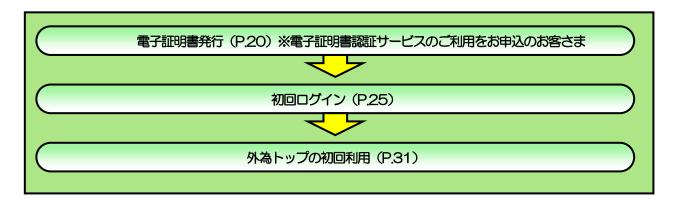
## ご利用開始登録の流れ

朝日外為 WEB をご利用いただくために、ログイン I D取得、承認パターンの設定などをお手続きいただきます。

#### ■マスターユーザの方



#### ■管理者ユーザ・一般ユーザの方



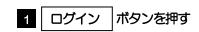
## 2 ご利用開始登録

## 2.1 ログインID取得

マスターユーザが初回ご利用の際は、ログインID取得を行ってください。

## 2.1.1 当金庫のホームページを表示して、 [ログイン] を押しま





## 2.1.2 ログイン画面を表示して、 [ログイン ID 取得] を押しま



ログインID取得 ボタンを押す

## 2.1.3 代表口座情報と認証項目を入力し、 [次へ] を押します。



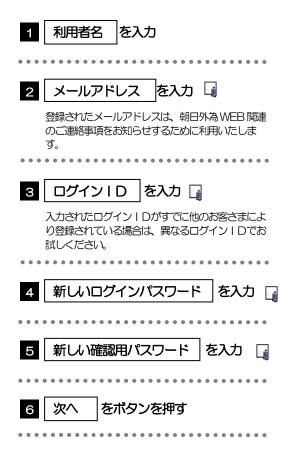




- ▶支店番号・科目・□座番号・仮確認用パスワードは、ご利用申込み後に当金庫より送付します「朝日外為WEBサービスご利用開始のお知らせ」に記載されている初回ログイン時の入力項目を入力してください。
- ▶仮ログインパスワードは、「朝日外為WEB利用申込書」(お客さま控え)に記載されている値を入力してください。

## 2.1.4 利用者情報を入力し、 [次へ] を押します。





**y**₹

- $\triangleright$  2  $\sim$  5 は、確認のために 2  $\circ$ 所に同じものを入力してください。
- ▶「ログインID」、「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、P.6 をご参照ください。

## 2.1.5 利用者情報を確認し、 [登録] を押します。



1 登録 ボタンを押す

## 2.1.6 ログインID 取得の完了です。



#### 電子証明書を発行されない場合

## 2.2 電子証明書発行(電子証明書認証サービスのご利用をお申込みのお客さま)

初めてご利用の方は、電子証明書の発行を行ってください。

2.2.1 ログイン画面を表示して、[電子証明書発行]を押します。



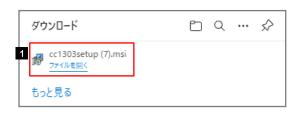
1 電子証明書発行 ボタンを押す

## 2.2.2 [証明書発行アプリのダウンロード] を押します。





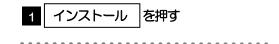
## 2.2.3 ダウンロードされた証明書発行アプリを開きます。



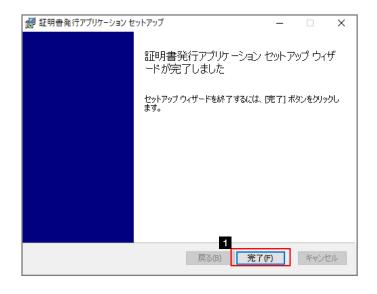
1 cc1303setup.msi を押す

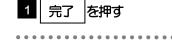
## 2.2.4 証明書発行アプリをインストールします。



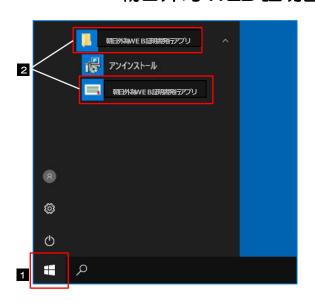


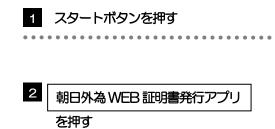
## 2.2.5 セットアップ完了を確認し[完了]を押します。





## 2.2.6 画面を閉じて、スタートメニューから 「朝日外為 WEB 証明書発行アプリ」を開きます。



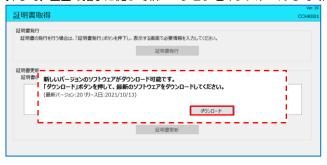


▶証明書発行アプリの起動後にプロキシ認証画面が表示された場合、プロキシの「ユーザ名」と「パスワード」\*\*1を入力してください。

※1:お客さま社内のプロキシ認証用のユーザ名/パスワードです。(朝日外為WEBのログインID/パスワードではありません。) ご不明な場合は、ご担当者様にご確認ください。



▶証明書発行アプリの起動後に新バージョンのダウンロードメッセージが表示された場合は、「ダウンロード」ボタンを押して、画面の指示に従って新バージョンをインストールしてください。



## 2.2.7 証明書取得画面を表示して、 [証明書発行] を押します。





**₩** ×€

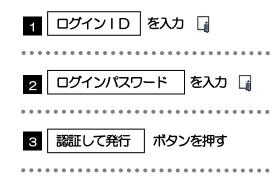
▶発行済み証明書の更新を促された場合(ログイン後に「証明書更新選択」画面が表示された場合)は、証明書発行アプリを起動後、本画面にて「証明書更新」ボタンを押して該当証明書を更新してください。(以降の操作は「証明書発行」と同様です。)



▶証明書は有効期限(発行後1年間)の40日前から更新可能となりますので、期限までに更新してください。(期限切れとなった場合は再度証明書を発行する必要があります。)

## 2.2.8 証明書取得認証画面を表示して、 [認証して発行] を押します。



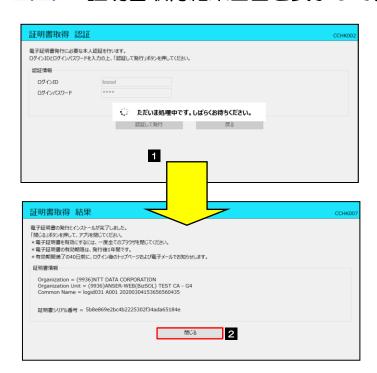


**I** ★モ

▶マスターユーザの方は、ログインID取得時にご登録された「ログインID」、「ログインパスワード」を入力してください。

▶管理者ユーザ・一般ユーザの方は、連絡された「ログインⅠD」、「ログインパスワード」を入力してください。

## 2.2.9 証明書取得結果画面を表示して、 [閉じる] を押します。



#### 1 「証明書取得結果」画面の表示

電子証明書の発行が完了すると「証明書取得結果」画面が表示されます。

#### 2 閉じる ボタンを押す

アプリが閉じますので、再度ブラウザを起動し、「初回ログイン」の操作へお進みください。

>>>>> P.25 参照

## 2.3 初回ログイン

### 2.3.1 ログイン画面を表示して、ログインします。



#### 電子証明書方式でログインされる場合

1 ログイン ボタンを押す

「Windows セキュリティ」が表示されます。

2 証明書を選択

「電子証明書発行」で取得した証明書 (>>>>> P.24 参照) を選択してください。(青枠が表示されることをご確認ください。)

3 OK ボタンを押す

ログイン画面が表示されますので、次の手順へお進 みください。

ID・パスワード方式でログインされる場合

1 ログインID を入力 🔓

2 ログインパスワード を入力 🖟

3 ログイン ボタンを押す

トップページが表示されます。>>>>> P.26 参照

ôE

▶電子証明書方式をご利用のお客さまで、電子証明書を発行されていない方は、電子証明書発行の手順を行ってください。
(>>>> P20 参照)

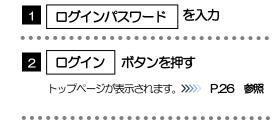
>Windows のバージョンにより、「Windows セキュリティ」の内容が異なりますが、操作方法は同じです。

▶マスターユーザの方は、ログイン I D取得時にご登録された「ログイン I D」、「ログインパスワード」 を入力してください。

▶管理者ユーザ・一般ユーザの方は、連絡を受けた「ログインID」、「ログインパスワード」を入力してください。

## 2.3.2 ログイン画面を表示して、 [ログイン] を押します。





## 2.3.3 トップページが表示されます。 🖟



マスターユーザの方

1 「ユーザの追加登録」の操作手順へお進みください。

>>>>> P.27 参照

管理者ユーザ・一般ユーザの方

2 「外為トップの初回利用」の操作手順へ お進みください。

>>>>> P.31 参照



- ▶ログインを行った際、「ログイン時お知らせ」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、お知らせ内容をご確認のうえ「次へ」ボタンを押してください。
- ➤管理者ユーザ・一般ユーザの方が初回ログインを行った際、「パスワード強制変更」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、P.127 をご参照ください。

## 2.4 ユーザの追加登録

マスターユーザの方以外が朝日外為WEBをご利用される場合、ユーザの追加登録を行ってください。 ユーザの追加登録を行わない場合は、「外為トップの初回利用」の操作手順へお進みください。 >>>>> P.31 参照

### 2.4.1 [外為取引を終了] ボタンを押します。



1 外為取引を終了 ボタンを押す

### 2.4.2 トップページ(管理)画面が表示されます。



1 利用者管理 ボタンを押す

### 2.4.3 [利用者管理] > [利用者情報の管理] を選択します

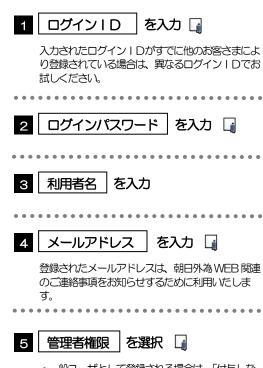
### 244 利用者一覧画面を表示して、「新規登録」を押します。



1 新規登録 ボタンを押す

## 2.4.5 利用者基本情報を入力し、[次へ]を押します。





- ・一般ユーザとして登録される場合は、「付与しな い」を選択してください。
- ・管理者ユーザとして登録される場合は、「付与す る」を選択してください。

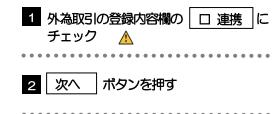
6 次へ ボタンを押す

▶ 1 、2 、4 は、確認のために2ヵ所に同じものを入力してください。

▶一般ユーザと管理者ユーザに設定できる外為取引権限については、P.35 をご参照ください。

## 2.4.6 外為取引の利用権限を付与し、[次へ]を押します。





⚠ 注意

▶外為取引利用権限が付与されていないユーザは、朝日外為WEB をご利用いただけません。

**y**₹

▶最大で10ユーザ(マスターユーザを含める)まで、利用権限を付与することが可能です。

## 2.4.7 利用者登録[口座]画面を表示して、[登録]を押します。



1 登録 ボタンを押す

## 2.4.8 登録情報を確認し、[実行]を押します。



# 1 確認用パスワード を入力 2 実行 ボタンを押す

## 2.4.9 ユーザ登録の完了です。



## 

## 2.5 外為トップの初回利用

### 2.5.1 [外為メニューへ] ボタンを押します。



▶「外為メニューへ」ボタンを押下した際、「認証状態が変更されました。再度ログインしてください。」と表示されることがあります。その場合は、おそれいりますが、再度ログインをやりなおしてください。(>>>> P.38 参照)

## 2.5.2 外為トップ画面が表示されます。



マスターユーザの方

1 「企業情報(承認パターン・通知メール)の設定」の操作手順へお進みください。 >>>> P.32 参照

# 2.6 企業情報(承認パターン・通知メール)の設定

朝日外為 WEB のご利用にあたり、お客さま社内の承認パターン、およびメール受信要否の設定を行ってください。

2.6.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [企業情報] > [照 会・変更] を選択します。

# 2.6.2 企業情報を設定し、 [内容確認] を押します。



#### 1 承認パターン を入力する 🔒

業務ごとに「承認なし」/「シングル承認」/「ダブル承認」を選択することが可能です。

2 通知メール を入力する 🖟

メールの受信要否を設定します。

3 内容確認 ボタンを押す

**y**₹

▶承認パターンによってお取引のお申込みまでの操作が異なります。>>>> P.7 参照

承認パターン	説明
承認なし	お取引のお申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。 依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
シングル承認	お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引のお申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を 行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
ダブル承認	お客さま社内で2段階の承認(一次承認→最終承認)を経たうえでお取らのお申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で当金庫へのお申込みが完了します。

▶朝日外為WEBのお取引に関するメールがご不用の場合、「受信しない」を選択してください。(朝日外為WEBでのお取引について、電子メールでのご連絡を中止します。)

ただし、「受信しない」を選択した場合でも、以下の場合に限り、電子メールでご連絡します。

・お客さまのお取扱い業務変更完了時

# 2.6.3 設定内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

# 2.6.4 企業情報の設定が完了です。

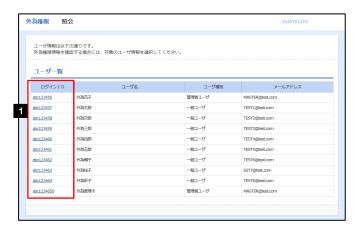


1 「ユーザへの外為取引権限設定」の操作 手順へお進みください。 >>>> P.34 参照

# 2.7 ユーザへの外為取引権限設定

朝日外為 WEB のご利用にあたり、ユーザへの外為取引権限の設定を行ってください。 ユーザの追加登録 (>>>> P27 参照) を行われていない場合は、以上で「ご利用開始登録」は完了となります。 ※マスターユーザには、初めて朝日外為 WEB を利用する際にすべての外為取引権限が自動的に設定されます。

- 2.7.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [外為権限] > [照 会・変更] を選択します。
- 2.7.2 権限を付与するユーザの [ログインID] リンクを押します。





**₩** ×€

▶マスターユーザは、朝日外為WEBでは「管理者ユーザ」として登録されます。

## 2.7.3 ユーザの情報を確認し、「変更」を押します。



1 変更 ボタンを押す

# 2.7.4 権限情報を設定し、 [内容確認] を押します。



 権限情報
 を入力する

 チェックした権限が該当ユーザへ付与されます。

 2
 内容確認

ボタンを押す

**₩** 

▶権限情報の登録内容欄をチェックした場合、以下の機能が利用できます。

Z¥A3chota	≘×n□	ユーザ	
登録内容	in the state of		管理者
依頼	対象取らの依頼データを作成することができます。	0	0
照会	自身が作成した取引、または自身が承認者に指定された取引を照会することが できます。	0	0
全取別照会	他ユーザの取引を含むすべての取引を照会することができます。	0	0
テンプレート管理	テンプレートの登録・変更を行うことができます。 >>>>> P.95 参照	0	0
承認	対象取引の承認操作を行うことができます。 <b>&gt;&gt;&gt;&gt;&gt; P.79 参照</b>	0	0
全履歴院会	全ユーザの操作履歴を照会することができます。 >>>>> P.88 参照	0	0

▶「企業情報(承認パターン・通知メール)の設定」(>>>>> P.32)、および「ユーザへの外為取引権限設定」(本操作)については、管理者ユーザに対して自動的に権限が設定されます。(一般ユーザはご利用になれません。)

# 2.7.5 設定内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

# 2.7.6 ユーザへの外為取引権限の設定が完了です。



続けてユーザへの外為取引権限設定を行う場合

ユーザ情報一覧へ ボタンを押す

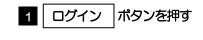
# 3. ログイン

# 1 操作手順

# 1.1 ログイン

1.1.1 当金庫のホームページを表示して、[ログイン]を押します。





#### 1.1.2 ログイン画面を表示して、ログインします。



#### 電子証明書方式でログインされる場合

1 ログイン ボタンを押す

「Windows セキュリティ」が表示されます。 🕡

2 証明書を選択

「電子証明書発行」で取得した証明書 ()))))
P24 **参照**) を選択してください。(青枠が表示されることをご確認ください。)

3 OK ボタンを押す

ログイン画面が表示されますので、次の手順へお進 みください。

ID・パスワード方式でログインされる場合

1 ログインID を入力する

2 ログインパスワード を



3 ログイン ボタンを押す

トップページが表示されます。

>>>>> P.40 参照



- >Windows のバージョンにより、「Windows セキュリティ」の内容が異なりますが、操作方法は同じです。
- ▶証明書が表示されない場合、有効期限(発行後 1 年間)が切れた可能性があります。この場合は再度「電子証明書発行」を行って、新たに証明書を取得してください。>>>> P20 参照





マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録(キーロガー)を防ぐことができます。

# 1.1.3 ログイン画面を表示して、[ログイン]を押します。 🖟





「Windows セキュリティ」が表示されますので、「OK」ボタンを押してください。

# 2 ログイン ボタンを押す

外為トップが表示されます。

>>>>> P.40 参照

#### **y**₹

- ▶電子証明書方式をご利用の場合、ログインを行った際、「証明書更新選択」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、「証明書発行アプリの起動」ボタンを押して、電子証明書を更新してください。 (>>>>> P20 参照)
- ▶ログインを行った際、「ログイン時お知らせ」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、お知らせ内容をご確認のうえ「次へ」ボタンを押してください。
- ▶ログインを行った際、「パスワード強制変更」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、 P.127 をご参照ください。
- ▶ログインを行った際、「メールアドレス確認」または「メールアドレス訂正」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合、一般ユーザの方はマスターユーザまたは管理者ユーザにメールアドレスの変更を依頼してください。

(マスターユーザ/管理者ユーザの方はご自身で変更可能です。)))) P.130 参照)

#### 1.1.4 外為トップ画面が表示されます。



**y**₹

▶「外為メニューへ」ボタンを押下した際、「認証状態が変更されました。再度ログインしてください。」と表示されることがあります。その場合は、おそれいりますが、再度ログインをやりなおしてください。(>>>>> P.38 参照)

# 2

# 外為トップ画面

朝日外為WEBのトップ画面であり、この画面から各種外為サービスメニューを選択します。 また、当金庫からのお知らせなどを掲載しておりますのでご確認ください。

<b>⑤</b> ↓ 仕向送金	仕向送金サービスが利用できます。>>>>> P.43 参照
輸入	輸入信用状開設サービスが利用できます。>>>> P.60 参照 輸入信用状条件変更サービスが利用できます。>>>> P.70 参照
承認	当金庫へのお取引の申込みを承認または差戻しすることができます。 >>>>> P.77 参照
各種管理	企業情報やユーザの外為権限などの各種設定を行うことができます。 >>>>> P.86 参照
• • • • • • • • • • • • • • •	



#### 外為取引を終了する場合

外為取引を終了 ボタンを押す

トップページ(管理)が表示されます。

#### ログアウトする場合

2 ログアウト ボタンを押す

朝日外為WEBを終了し、ログアウトします。

3 ご利用になる業務のメニュータブを押す >>>> P.41 参照

⚠ 注意

▶ブラウザの戻るボタンはご利用にならないでください。

#### **y**₹

▶ヘッダ(画面右上)の「ご利用履歴」リンクを押すと、ご自身が朝日外為WEBにログインした日時(過去3件)が表示されます。



▶ヘッダ(画面右上)のユーザ名リンクを押すと、ご自身のユーザ情報が表示されます。



- ▶「お知らせ」には、当金庫からのお知らせやご連絡事項などを表示します。
- ▶「作成中のお取引」には、ご自身が一時保存した取引や、承認者より差戻しされた取引の件数を業務ごとに一覧表示します。
- ▶「承認待ちのお取引」には、ご自身が承認者に指定された取引の件数を業務ごとに一覧表示します。
- → <u>仕向送金</u> を押すと、該当業務の各種取引一覧を直接表示することができます。(メニュー選択などの操作を省略することができます。)
  - 作成中取引一覧
  - 承認待ち取引一覧

# 4. 仕向送金

# 1

## 概要

海外への送金依頼やご依頼内容・取引状況の照会などを行うことができます。

#### 送金依頼[画面入力]

新規の取引を1件ごとに依頼できます。>>>> P.45 参照 依頼した取引はテンプレートとして登録することができます。 利用頻度の高い取引はテンプレート登録しておくと便利です。

#### >>>>> P.96 参照

テンプレート登録した依頼内容は、次回以降の依頼時に読み込むことで、入力の手間を省くことができます。 >>>> P.97 参照

#### 作成中取引の修正・削除

お客さま社内で作成途中の状態となっている取引や当金庫が返却 (差戻し)を行った取引について修正・再依頼、または削除することができます。

修正・削除できるのは、取引の作成者ご自身のみです。

>>>>> P.53 参照

#### 取引照会

ご自身が作成した取引、またはご自身が承認者に指定された取引を照会することができます。

「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。

ご依頼内容のほか、お客さま社内や当金庫での取引進捗状況を確認 することができます。

>>>>> P.55 参照

#### 承認待ち取引の引戻し

ご自身が承認依頼を行った取引について、引戻し(取下げ)を行うことができます。 >>>> P.58 参照

引戻しを行った取引は「作成中取引の修正・削除」から、修正・再 依頼、または削除することができます。>>>> P.53 参照

#### テンプレートの登録

定期的な取引の依頼内容をテンプレートとして事前に登録することができます。

登録したテンプレートは依頼画面で呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。

テンプレートの照会・修正・削除

テンプレートは、修正・削除を行うこともできます。



# 2.1 送金依頼(画面入力)

- 2.1.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [送金依頼[画面入力]] を選択します。
- 2.1.2 依頼内容を入力し、 [内容確認] を押します。

入力項目の詳細については、「朝日外為WEB操作マニュアル(別冊)」をご参照ください。



#### 1 基本情報 を入力する

送金指定日、お客様整理番号、送金種類を入力してください。

※送金指定日は、1ヶ月先までの日付(金融機関営 業日)が指定可能です。 ↑

⚠ 注意

▶送金指定日に日本の休日を指定することはできません。海外の休日を指定した場合には依頼時に注意メッセージが表示されますので、あらためて送金指定日をご確認ください。(そのまま依頼を続行することも可能です。)

<u></u> ≭€

「立 (カレンダーボタン)を押すと、日本の休日と海外の休日が表示されます。

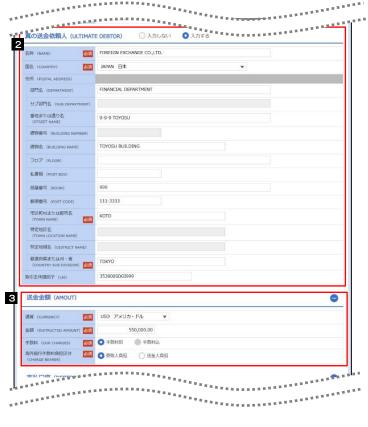


#### **y**₹

▶入力欄の背景色は以下のとおりです。

背景色	内容	説明
オレンジ	必須入力	必ず入力してください。(入力後は白色表示となります。)
灰色	入力不可	入力できません。
É	任意入力	必要に応じて入力してください。
赤	エラー	入力エラー時に該当項目の背景色が赤色反転します。

▶住所欄の各項目は、国ごとに入力要否が異なります。「国名」を選択すると各入力欄の背景色(必須/不可)が変わりますので、これに従って入力してください。(以下、「受取人」などについてもすべて同様です。)



#### 真の送金依頼人を指定する場合

2 真の送金依頼人 を入力する 🔓

代理送金など、送金人名義と異なる第三者等が真の送金依頼人となる場合に入力してください。 ※存在しない場合は入力不要です。

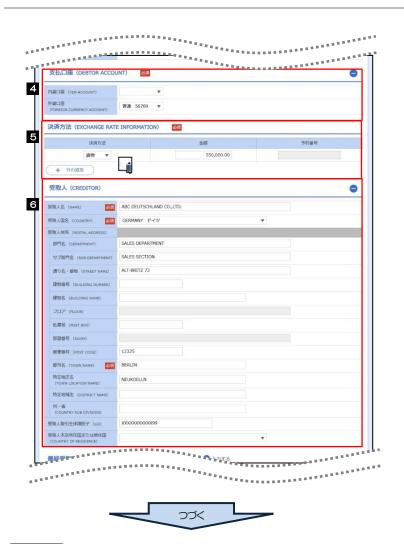
3 送金金額 を入力する

送金通貨、送金金額を入力してください。海外銀行手数料負担区分を選択してください。



×Έ

▶「真の送金依頼人」欄が表示された場合、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を選択して入力欄を表示してください。



4 支払口座 を入力する

送金代り金の引落口座を指定してください。

5 決済方法 を入力する

送金代り金の決済方法、金額、予約番号を入力してください。

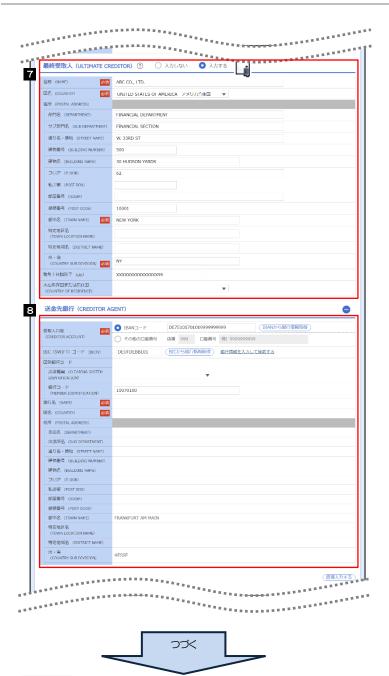
※分割決済を行う場合は、「行の追加」ボタンを押すと2行目以降の入力欄が表示されます。

6 受取人 を入力する

お受取人の氏名(企業名)、国名、住所などを入力してください。



▶分割決済を行う場合は、金額欄の合計が送金金額と同額になるよう入力してください。(入力欄は先頭行から順に詰めて入力してください。)



#### 最終受取人を指定する場合

#### 7 最終受取人 を入力する 🗐

お受取人と異なる第三者等が最終受取人となる場合 に入力してください。(存在しない場合は入力不要 です。)

## 8 送金先銀行を入力する

受取人口座のIBANコード、または送金先銀行のBIC(SWIFT)コードを入力して「銀行情報取得」ボタンを押すと、銀行名や住所が画面に自動反映されますので()) P106 参照)、表示された内容をご確認ください。

#### **y**₹

- ▶「最終受取人」欄が表示された場合、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を選択して入力欄を表示してください。
- ▶IBAN 採用国の場合、受取人口座は必ず「IBAN コード」で指定してください。
  IBAN 採用国以外の場合は「その他の口座番号」に入力してください。(国内向け送金の場合は「店番」も必須です。)
  ※IBAN コード(International Bank Account Number)とは、口座保有金融機関の所在国、銀行名、支店名、および口座番号を特定するための国際標準です。
- ▶送金先銀行は原則「BIC(SWIFT)コード」で指定してください。 ※BIC コード(Bank Identifier Code)とは、銀行間通信網(SWIFT)において金融機関を特定するための国際標準です。
- ▶ 「国別銀行コード」は、米国宛て、または中国本土宛て人民元建て送金など、送金内容により必要となる場合に「BIC(SWIFT) コード」と併せて入力してください。(米国 ABA や中国 CNAPS などの各国決済機関はリストから選択いただけます。)

#### ⚠ 注意

- ➤「銀行情報取得」ボタン押しても取得されない場合や、想定と異なる金融機関が取得された場合は、「IBAN コード」または「BIC(SWIFT) コード」の入力内容を再度ご確認ください。(または、「銀行情報を入力して検索する」のリンクを押すと検索 画面が表示されますので、そちらから検索することも可能です。)
- ▶SWIFT 非加盟の金融機関を指定される場合は、送金先銀行欄右下の「直接入力する」ボタンを押して直接入力してください。 (「銀行情報取得」ボタンや「銀行情報を入力して検索する」リンクは SWIFT 非加盟の金融機関には対応していません。)



#### 経由銀行を指定する場合

## 9 経由銀行 を入力する 🗐

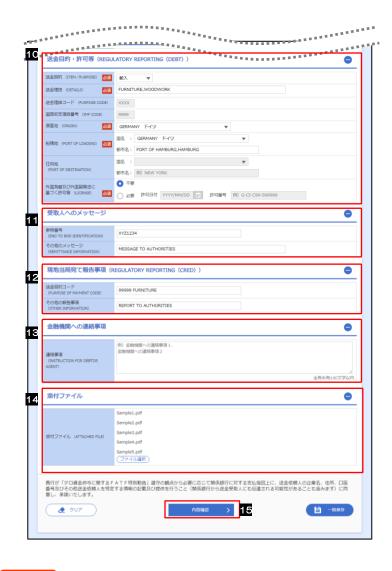
経由銀行のBC(SWFT)コードを入力して「銀行情報取得」ボタンを押すと、銀行名や住所が画面に自動反映されますので()>>>> P.106 参照)、表示された内容をご確認ください。

#### **y**₹

- ▶「経由銀行」は、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を 選択して入力欄を表示してください。
- ▶経由銀行を指定される場合は、「BIC(SWIFT)コード」が必須となりますので必ず入力してください。(SWIFT 非加盟の金融機関は指定できません。「国別銀行コード」による指定もできません。)

#### ⚠ 注意

- ▶「銀行情報取得」ボタンを押しても取得されない場合や、想定と異なる金融機関が取得された場合は、「BIC(SWIFT)コード」の入力内容を再度ご確認ください。
- ▶経由銀行は送金先銀行と異なり「直接入力」はできません。(「銀行情報取得」ボタンまたは「銀行情報を入力して検索する」 リンクから、必ずSWIFT 加盟の金融機関をご指定ください。)



10 送金目的・許可等 を入力する

送金目的、送金理由、送金理由コード、国際収支項目番号、原産地、船積地、仕向地、外国為替及び外国貿易法に基づく許可等を入力してください。

11 受取人へのメッセージ を入力する

お受取人に通知する参照番号(取引識別番号など) やその他のメッセージを入力してください。

12 現地当局宛報告事項 を入力する

送金先国により必要とされる場合、現地当局等が定める送金目的コードやその他必要事項を入力してください。

13 金融機関への連絡事項 を入力する

当金庫への連絡事項がある場合に入力してください。

14 添付ファイル を登録する

お取引のお申込みにあたり、必要書類をファイルで 添付することができます。

15 内容確認 ボタンを入力する



▶受取人口座に「BAN コード」を指定後、「銀行情報を取得」ボタンを押して正しく取得できた場合も、「内容確認」ボタンを押すとエラーになることがあります。

この場合、IBAN内に含まれる銀行コードは正しく指定されていますが、口座番号部分などの誤りにより IBAN 全体の桁数が該当国の IBAN 桁数と相違していますので、入力内容をご確認のうえ、再度検索などの操作 (>>>>> P.106 参照) を行ってください。(「銀行情報を取得」ボタンを押さなかった場合も、桁数相違の場合は同様にエラーとなります。)

各国ごとのIBAN 桁数については、「朝日外為WE B企業操作マニュアル(別冊)」をご参照ください。

# 2.1.3 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。

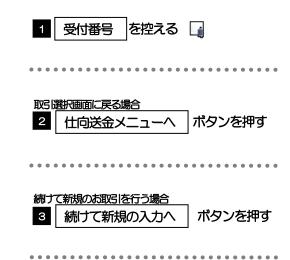




- ▶お客さまが設定した承認パターンに該当する操作をしてください。>>>>> P.7 参照
- ▶「承認者」欄には、お客さま社内で承認権限を保有するユーザがプルダウンで表示されますので、この中から承認者を選択してください。
- ▶ダブル承認の場合、「一次承認者」と「最終承認者」に、同一の承認者は選択できません。

## 2.1.4 取引が実行されました。(送金依頼(画面入力)の完了)





#### ⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で承認待ちの状態となっており、当金庫へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き承認者にご連絡のうえ、承認操作(>>>>> P.79 参照)を依頼してください。 (お客さまの承認パターンがシングル承認、またはダブル承認の場合、承認者による承認操作が必要となります。)
- ▶承認なしの場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。(メッセージも表示されません。)

#### **\_**∰ ⊁モ

- ▶朝日外為WEBでは、各種操作を行う際、受付番号を利用します。
- ▶「ステータス」に"返却済み"が表示されたお取引は、返却理由が表示されますので、内容をご確認のうえ「作成中取引一覧」より、修正または削除の操作を行ってください。>>>> P.53 参照
- ▶依頼内容を修正する場合は「引戻し可能取引一覧」より引戻し(取下げ)のうえ、修正してください。>>>>> P.58 参照

# 2.2 作成中取引の修正・削除

2.2.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [作成中取引の修正・削除]を選択します。

## 2.2.2 作成中取引の一覧が表示されます。 4



1 修正、または削除したい 受付番号 リンクを押す

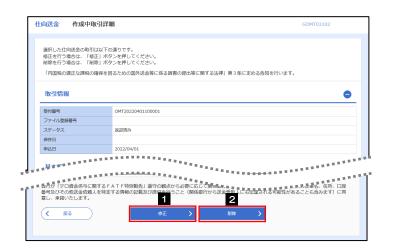
**₩**₹

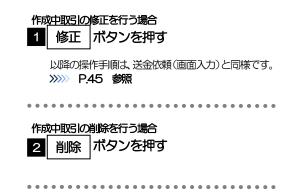
▶ご自身が作成した以下ステータスの取引について、修正・削除が可能です。

ステータス	説明
保存中	ご自身により一時保存した取引
引戻済み	ご自身が承認依頼後、引戻しした取引(承認前)
差戻済み	承認者より差戻しされた取引(メールでお知らせします)
返却済み	当金庫により返却された取引(メールでお知らせします)

- ▶「外為トップ」画面「作成中のお取引」から直接遷移することも可能です。>>>>> P.41 参照
- ▶ (ISO 移行前)が表示されたお取引<sup>※</sup>は修正できません(削除のみ可能です)。再度ご依頼の場合は、お手数ですが「送金依頼(画面入力)」メニューから新規で入力してください。>>>>> P.45 参照
  - ※当金庫では、SWFT 電文のISO20022 フォーマット移行に伴い、2025年9月1日以降を送金指定日とする仕向送金の依頼フォーマットを ISO 形式の新フォーマットに変更しており、送金指定日が2025年8月29日以前の仕向送金取引については(ISO 移行前)が表示されます。

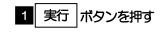
# 2.2.3 表示された内容を確認し [修正] または [削除] を押します。





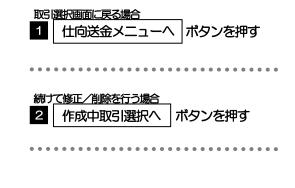
#### 2.2.4 取引を削除する場合、 [実行] を押します。





# 2.2.5 取引が削除されました。





# 2.3 取引照会

- 2.3.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [取 引照会] を選択します。
- 2.3.2 検索条件を入力して、 [絞り込み] を押します。

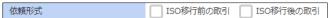




#### **y**₹

- ▶送金指定日が、1年前までの取引が照会できます。
- ▶最大 1,000 件までの取引が一覧表示されます。
- ▶「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。
- ▶一時保存した取引は対象外とします。 照会する場合は「作成中取引の修正・削除」から照会してください。>>>> P.53 参照
- ▶ISO 移行前から朝日外為 WEB をご利用のお客さま\*\*は、ISO 移行前の(旧フォーマットによる)お取引も従来どおり照会可能です。

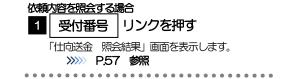
この際、「依頼形式」の検索欄から新旧フォーマットを指定して取引を検索することもできますので、必要に応じてご利用ください。(ISO 移行後からご利用のお客様の場合は表示されません。)



※当金庫では、SMFT 電文のISO20022 フォーマット移行に伴い、2025年9月1日より仕向送金の依頼フォーマットをISO 形式の新フォーマットに変更しています。

## 2.3.3 検索結果の一覧より照会する対象を選択します。





**∦** ⊁E

▶ISO 移行前(旧フォーマット)の取引には、受付番号欄に"(ISO 移行前)"が表示されます。(新フォーマットの取引との一括印刷や一括ファイル取得はできません。)

▶一覧に表示するステータスは以下のとおりです。

ステータス	取引の状態
承認待ち	お客さま社内で、承認待ちとなっている状態
一次承認待ち	お客さま社内で、一次承認待ちとなっている状態
最終承認待ち	お客さま社内で、最終承認待ちとなっている状態
差戻済み	お客さま社内で、承認者が差戻しを行った状態
引戻済み	お客さま社内で、依頼者自身が引戻し(取下げ)を行った状態
返却済み	お取扱不可となり、当金庫からお客さまに取引の返却(差戻し)を行った状態
申込済み	当金庫へのお申込みが完了した状態
処理済み	当金庫での処理が完了した状態

## 2.3.4 ご依頼内容が画面表示されます。



- ➤(ISO 移行前)の取引は、従来どおり旧フォーマットで表示されます。(但し、「テンプレート保存」や「複写作成」はできません。)
- ▶「添付ファイル」のリンクを押すことで、お客さまが登録した添付書類ファイルを照会できます。
  >>>> P.104 参照
- 「決済明細ファイル」のリンクを押すことで、当金庫が作成した計算書(PDF 形式ファイル)を照会できます。P.105 参照

# 2.4 承認待ち取引の引戻し

- 2.4.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [承認待ち取引の引戻し] を選択します。
- 2.4.2 引戻し可能取引一覧画面を表示して、 [受付番号] リンクを押します。



1 引戻しする取引の 受付番号 リンクを押す

ΥE

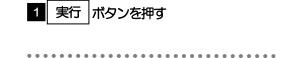
▶以下ステータスの取引について、引戻しが可能です。

ステータス	説明
承認待ち	シングル承認の場合に、承認待ちとなっている取引
一次承認待ち	ダブル承認の場合に、一次承認待ちとなっている取引
最終承認待ち	ダブル承認の場合に、最終承認待ちとなっている取引

▶ (ISO 移行前)の取引も引戻し可能です。但し、引戻し後の修正(再度の承認依頼)はできませんので、引戻し後は「作成中取引一覧」から削除してください。>>>> P.53 参照

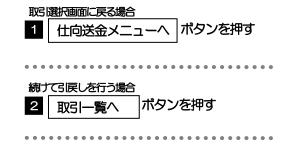
## 2.4.3 表示された内容を確認し、 [実行] を押します。





#### 2.4.4 引戻しの完了です。





**y** ⊁€

▶引戻しした取引は、「作成中取引一覧」より、修正・再依頼、または削除を行うことができます。>>>> P.53 参照

# 5. 輸入信用状開設

# 1 概要

輸入信用状の開設依頼やご依頼内容・取引状況の照会などを行うことができます。

#### 開設依頼[画面入力]

新規の取引(信用状の開設)を1件ごとに依頼できます。

#### >>>>> P.62 参照

依頼した取引はテンプレートとして登録することができます。 利用頻度の高い取引はテンプレート登録しておくと便利です。

#### >>>>> P.96 参照

テンプレート登録した依頼内容は、次回以降の依頼時に読み込む ことで、入力の手間を省くことができます。>>>> P.97 参照

#### 作成中取引の修正・削除

お客さま社内で作成途中の状態となっている取引や当金庫が返却(差戻し)を行った取引について修正・再依頼、または削除することができます。

修正・削除できるのは、取引の作成者ご自身のみです。 操作手順については「仕向送金」の「作成中取引の修正・削除」 と同様ですので、そちらをご参照ください。>>>> P.53 参照

#### 取引照会

ご自身が作成した取引、またはご自身が承認者に指定された取引 を照会することができます。

「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。

ご依頼内容のほか、お客さま社内や当金庫での取引進捗状況を確認することができます。 >>>> P.67 参照

#### 承認待ち取引の差戻し

ご自身が承認依頼を行った取引について、引戻し(取下げ)を行うことができます。

引戻しを行った取引は「作成中取引の修正・削除」から、修正・ 再依頼、または削除することができます。

操作手順については「仕向送金」の「承認待ち取引の引戻し」と同様ですので、そちらをご参照ください。>>>> P.58 参照

#### テンプレートの登録

定期的な取引の依頼内容をテンプレートとして事前に登録することができます。

登録したテンプレートは依頼画面で呼び出すことで、入力の手間 を省くことができます。

#### テンプレートの照会・修正・削除

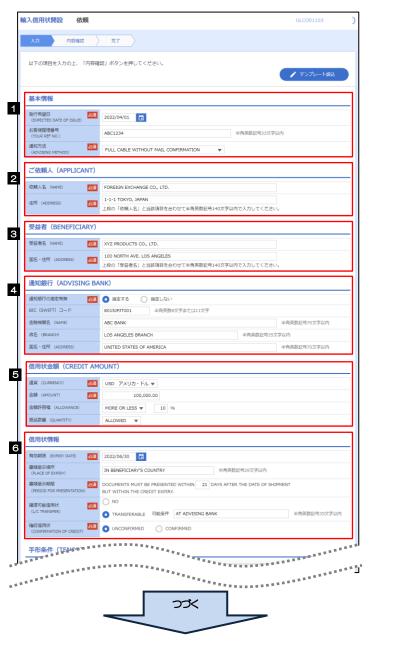
テンプレートは、修正・削除を行うこともできます。

# 2 操作手順

# 2.1 開設依頼(画面入力)

- 2.1.1 メニューを表示して、 [輸入] > [輸入信用状開設] > 「開設依頼「画面入力」] を選択します。
- 2.1.2 依頼内容を入力し、 「内容確認」を押します。

入力項目の詳細については、「朝日外為WEB操作マニュアル(別冊)」をご参照ください。



#### 基本情報 を入力する

信用状の発行希望日、お客様整理番号、通知方法を 入力してください。

※発行希望日は、1ヶ月先までの日付(金融機関営 業日)を入力できます。

#### ご依頼人 (APPLICANT) が

表示される

#### 受益者(BENEFICIARY) を入力する

受益者(輸出者)の氏名(企業名)・住所を入力して ください。

#### | 通知銀行(ADVISING BANK)

#### を入力する

通知銀行の指定有無、およびBIC(SWIFT)コード・ 金融機関/支店名称・住所を入力してください。し ※通知銀行とは、受益者に信用状が開設されたこと を通知する海外の銀行です。

#### 信用状金額(CREDIT AMOUNT)

#### を入力する

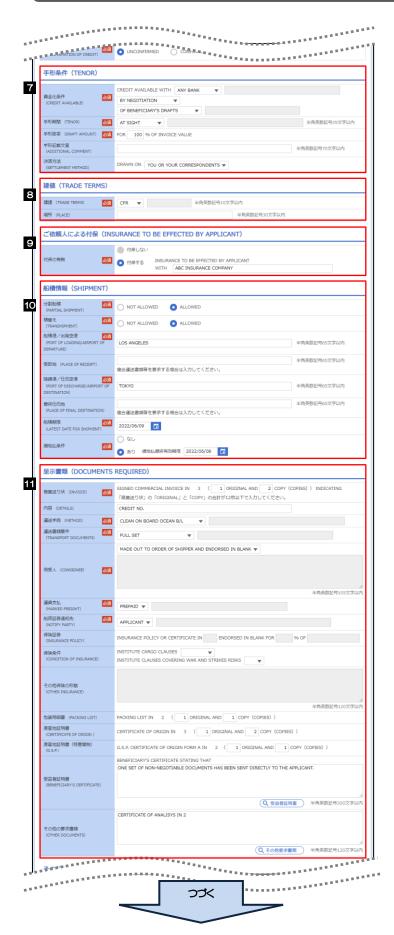
信用状通貨と金額を入力してください。 金額許容幅や商品数量の変更可否を指定できます。

#### 信用状情報 を入力する

信用状の有効期限や譲渡可否、確認有無を入力して ください。



▶BIC コード (Bank Identifier Code) とは、銀行間通信網 (SWIFT) において金融機関を特定するための国際標準です。



#### 7 手形条件(TENOR) を入力する

信用状に基づく買取銀行(取扱銀行)や手形条件、手形期間などを入力してください。

# 8 建値 (TRADE TERMS) を入力する

貿易条件(インコタームズ)と取引場所(運賃負担等の分岐場所)を入力してください。

# 9 ご依頼人による付保 (INSURANCE TO BE EFFECTED BY APPLICANT) を入力する

付保の有無を選択してください。 ※「建値」の入力内容により自動選択されます。

# 10 船積情報 (SHIPMENT) を入力する

分割船積・積替えの可否や船積地、仕向地、船積 期限などを入力してください。

#### 11 呈示書類 (DOCUMENTS REQUIRED)

#### を入力する

呈示書類(商業送り状、船荷証券、保険証券など)の種類および通数などを入力してください。



#### 12 その他条件 を入力する

輸入商品の明細などを入力してください。

#### 13 金融機関への依頼/申告事項

#### を入力する

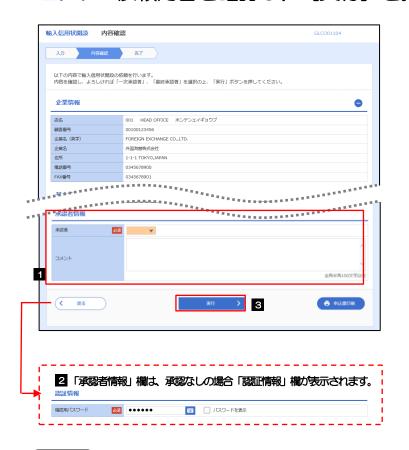
輸入ユーザンスの希望有無、商品の原産地などを入力してください。

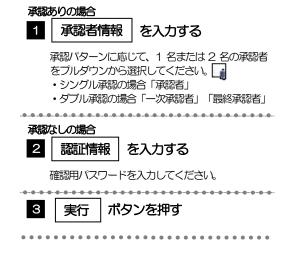
#### 14 添付ファイル を登録する

お取引のお申込みにあたり、必要書類をファイル で添付することができます。

15 内容確認 ボタンを押す

# 2.1.3 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。



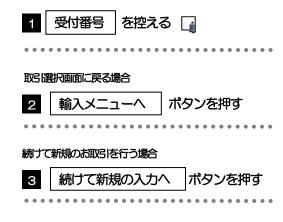


¥€ ×E

- ▶お客さまが設定した承認パターンに該当する操作をしてください。>>>>> P.7 参照
- ▶「承認者」欄には、お客さま社内で承認権限を保有するユーザがプルダウンで表示されますので、この中から承認者を選択してください。
- ▶ダブル承認の場合、「一次承認者」と「最終承認者」に、同一の承認者は選択できません。

# 2.1.4 開設依頼(画面入力)の完了です。





#### ⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で承認待ちの状態となっており、当金庫へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き承認者にご連絡のうえ、承認操作()>>>> P.79 参照)を依頼してください。 (お客さまの承認パターンがシングル承認、またはダブル承認の場合、承認者による承認操作が必要となります。)
- ▶承認なしの場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。(メッセージも表示されません。)

#### <u></u> ≭E

- ▶朝日外為 WEB では、各種操作を行う際、受付番号を利用します。
- ▶依頼内容を修正する場合は「引戻し可能取引一覧」より引戻し(取下げ)のうえ、修正してください。>>>> P.58 参照

# 2.2 取引照会

# 2.2.1 メニューを表示して、 [輸入] > [輸入信用状開設] > [取引照会] を選択します。

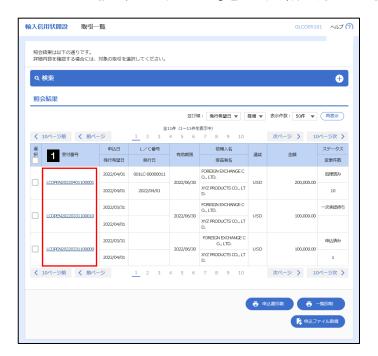
# 2.2.2 検索条件を入力して、 [絞り込み] を押します。



**y** ≭E

- ▶信用状の有効期限が、1年前までの取引が照会できます。
- ▶最大 1,000 件までの取引が一覧表示されます。
- ▶「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。
- ▶一時保存した取引は対象外とします。 照会する場合は「作成中取引の修正・削除」から照会してください。>>>> P.53 参照

## 2.2.3 検索結果の一覧より照会する対象を選択します。





### **₩** ¥ŧ

▶一覧に表示するステータスは以下のとおりです。

ステータス	取引の状態
承認待ち	お客さま社内で、承認待ちとなっている状態
一次承認待ち	お客さま社内で、一次承認待ちとなっている状態
最終承認待ち	お客さま社内で、最終承認待ちとなっている状態
差戻済み	お客さま社内で、承認者が差戻しを行った状態
引戻済み	お客さま社内で、依頼者自身が引戻し(取下げ)を行った状態
返却済み	お取扱不可となり、当金庫からお客さまに取引の返却(差戻し)を行った状態
申込済み	当金庫へのお申込みが完了した状態
処理済み	当金庫での処理が完了した状態

# 2.2.4 ご依頼内容が画面表示されます。



# 6. 輸入信用状条件変更

# 1 概要

輸入信用状の条件変更依頼やご依頼内容・取引状況の照会などを行うことができます。

条件変更依頼

輸入信用状の条件変更依頼ができます。

>>>>> P.72 参照

作成中取引の修正・削除

お客さま社内で作成途中の状態となっている取引や当金庫が返却 (差戻し)を行った取引について修正・再依頼、または削除することができます。

修正・削除できるのは、取引の作成者ご自身のみです。

操作手順については「仕向送金」の「作成中取引の修正・削除」と同様ですので、そちらをご参照ください。>>>> P.53 参照

取引照会

ご自身が作成した取引、またはご自身が承認者に指定された取引を照会することができます。

「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。

ご依頼内容のほか、お客さま社内や当金庫での取引進捗状況を確認することができます。 >>>> P.74 参照

承認待ち取引の差戻し

ご自身が承認依頼を行った取引について、引戻し (取下げ) を行う ことができます。

引戻しを行った取引は「作成中取引の修正・削除」から、修正・再 依頼、または削除することができます。

操作手順については「仕向送金」の「承認待ち取引の引戻し」と同様ですので、そちらをご参照ください。>>>> P.58 参照

# 2 操作手順

# 2.1 条件変更依頼(画面入力)

- 2.1.1 メニューを表示して、 [輸入] > [輸入信用状条件変更] > [条件変更依頼] を選択します。
- 2.1.2 検索条件を入力して [絞り込み] を押します。



1 検索条件を入力して 絞り込み ボタンを押す

### 2.1.3 開設済取引一覧が表示されます。



1 条件変更を行う取引の L/C番号 リンクを押す 朝日外為 WEB を経由せず、窓口取引などで 開設された輸入信用状は表示されません。

### 2.1.4 条件変更内容を入力し、 [内容確認] を押します。

入力項目の詳細については、「朝日外為WEB操作マニュアル(別冊)」をご参照ください。



### 1 条件変更内容を入力し、 内容確認 ボタンを押す 🕝

以降の操作手順は、開設依頼(画面入力)と同様です。 >>>>> P.62 参照

### **I** ≭€

▶以下項目の入力が必要となります。

画面の項目	入力要否	入力内容・入力条件など	
基本情報			
L/C番号	×	一覧選択時は自動表示(入力不可)	
発行日	×		
変更希望日	0	条件変更希望日を入力	
通知方法	×		
ご依頼人(APPLICANT)	×	\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
受益者(BENEFICIARY)	×	一覧選択時は自動表示(入力不可)	
通知銀行(ADVISING BANK)	×		
受益者の同意	Δ	確認要否を入力	
信用状金額			
金額変更	Δ	金額変更(増額/減額)の有無	
通貨	×	@<\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
開設時金額	×	一覧選択時は自動表示(入力不可)	
現在累計金額	×	一覧選択時は自動表示(変更可能)	
增减金額	Δ	金額変更を行う場合の増減金額	
変更後累計金額	×	現在累計金額土増減金額を自動表示	
期限変更	Δ	期限変更の有無・変更内容	
書類呈示期間	Δ	期間変更の有無・変更内容	
その他変更	Δ	取消(バランスキャンセル)の有無など	

O:入力必須、 $\Delta:$ 任意入力、 $\times:$ 入力不可

# 2.2 取引照会

# 2.2.1 メニューを表示して、 [輸入] > [輸入信用状条件変更] > [取引照会] を選択します。

### 2.2.2 検索条件を入力して、 [絞り込み] を押します。

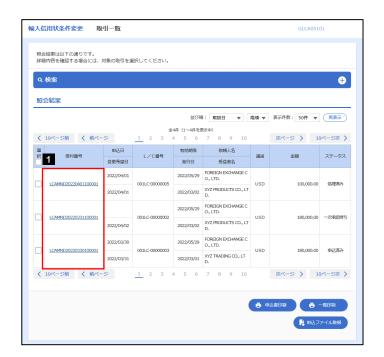




### **y**₹

- ▶信用状の有効期限が、1年前までの取引が照会できます。
- ▶最大 1,000 件までの取引が一覧表示されます。
- ▶「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。
- ▶一時保存した取引は対象外とします。 照会する場合は「作成中取引の修正・削除」から照会してください。>>>> P.53 参照

## 2.2.3 検索結果の一覧より照会する対象を選択します。



# 体頼人容を摂会する場合 1 受付番号 リンクを押す 「輸入信用状条件変更 照会結果」画面を表示しま

す。»»» P.76 参照

### **■** ×モ

▶一覧に表示するステータスは以下のとおりです。

ステータス	取らの状態
承認待ち	お客さま社内で、承認待ちとなっている状態
一次承認待ち	お客さま社内で、一次承認待ちとなっている状態
最終承認待ち	お客さま社内で、最終承認待ちとなっている状態
差戻済み	お客さま社内で、承認者が差戻しを行った状態
引戻済み	お客さま社内で、依頼者自身が引戻し(取下げ)を行った状態
返却済み	お取扱不可となり、当金庫からお客さまに取引の返却(差戻し)を行った状態
申込済み	当金庫へのお申込みが完了した状態
処理済み	当金庫での処理が完了した状態

# 2.2.4 ご依頼内容が画面表示されます。





▶「添付ファイル」のリンクを押すことで、お客さまが登録した添付書類ファイルを照会できます。
>>>>> P.104 参照

# 7. 承認

# 1 概要

承認依頼者から、自身が承認者に指定された取引について、承認または差戻しすることができます。 また、一括承認機能により、複数の取引を一度に承認することも可能です。 なお、承認操作は各業務とも共通の手順ですので、ここでは、「仕向送金」を例に説明します。

仕向送金	仕向送金の承認依頼について、承認または差戻しすることができま す。
輸入信用状開設	輸入信用状開設の承認依頼について、承認または差戻しすることが できます。
輸入信用状条件変更	輸入信用状条件変更の承認依頼について、承認または差戻しすることができます。



# 操作手順(仕向送金を例とします)

# 2.1 取引の承認/差戻し

2.1.1 メニューを表示して、 [承認] > [仕向送金] を選択します。

### 2.1.2 承認待ち取引一覧を表示します。 🖫



一覧の内容を絞り込みたい場合

指定した条件すべてに該当するデータに絞り込みます。

2 受付番号 リンクを押す

**√** ×€

- ▶自身が承認者(ダブル承認の場合は一次承認者または最終承認者)に指定されている取引について表示します。
- ▶承認依頼があった際、メールでお知らせします。
  - 承認依頼者からの承認依頼時
  - ダブル承認の場合、一次承認者からの最終承認依頼時
- ▶「外為トップ」画面「承認待ちのお取引」から直接遷移することも可能です。>>>>> P.41 参照
- → 「持郷 > 押下により、複数件の取引をまとめて承認することもできます。 >>>> P.83 参照
- ▶仕向送金で受付番号欄に(ISO 移行前)が表示されたお取引は承認できません。(差戻しのみ可能です。)
  差戻し後の修正もできませんので、再度ご依頼の場合は「送金依頼(画面入力)」メニューから新規で入力してください。
  >>>>> P.45 参照

### 2.1.3 依頼内容を確認し、 [承認] または [差戻し] を押しま す。



#### 承認を行う場合

承認 ボタンを押す

> 承認の手順にお進みください。 >>>>> P.81 参照

#### 差戻しを行う場合

2 | 差戻し | ボタンを押す

差戻しの手順にお進みください。

>>>>> P.82 参照

▶依頼者が登録した添付書類ファイルを照会できます。 >>>> P.104 参照

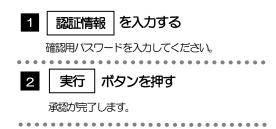
#### ⚠ 注意

- ▶以下のような場合、「承認」ボタンを押すとエラーになりますので、「差戻し」ボタンを押して依頼者への差戻しを行って ください。»»» P.82 参照
  - ✔承認時点で「受付時限」を超過していた場合
  - ✔依頼者が入力した「通貨」や「国名」が、承認時点で取扱不可などの状態になっていた場合

### 2.1.4 承認を行います。

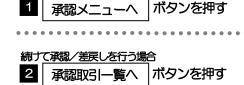
### (1) 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。





(2) 承認の完了です。





業務選択画面に戻る場合

#### ⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっており、 当金庫へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作(>>>>> P.79 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認で一次承認を行った場合、さらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。 (メッセージも表示されません。)

### 2.1.5 差戻しを行います。

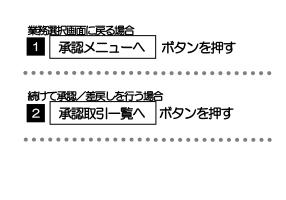
### (1) 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。



1 差戻しする依頼内容を確認し 実行 ボタンを押す

### (2) 差戻しの完了です。



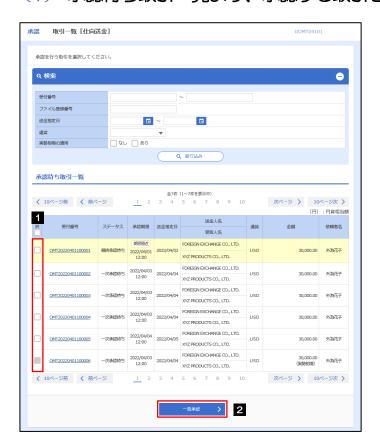


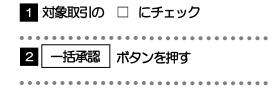
**₩** 

- ▶差戻しを行った場合は、承認パターンに関わらず承認依頼者に対して差戻しを行います。 (ダブル承認で最終承認者が差戻しを行った場合も、一次承認者ではなく、承認依頼者に差戻します。)
- ▶差戻しされた取引は「作成中取引一覧」より修正・再依頼、または削除することができます。>>>> P.53 参照

## 2.1.6 一括承認を行います。

(1) 承認待ち取引一覧より、承認する取引を選択します。



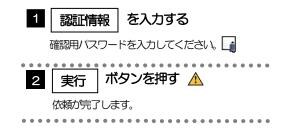


**∡**¥€

▶一括承認が可能な取引件数は最大50件(承認待ち取引一覧の1ページあたり最大表示件数)です。

### (2) 一覧の取引内容を確認し、 [実行] を押します。



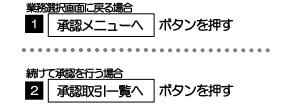


#### ⚠ 注意

- ▶エラー取引一覧が表示されていた場合、このまま実行することもできますが、「エラー取引一覧」に表示された取引に ついては承認されません。
  - エラー取引一覧に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.82 参照

### (3) 一括承認の完了です。





### ⚠ 注意

- ▶「〈注意〉ステータスが最終承認待ち~承認を行ってください。」のメッセージが表示された場合は、一括承認したお取引の中にお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっている取引が含まれています。該当取引は当金庫へのお申込がまだ完了しておりませんので、「取引一覧」のステータス欄をご確認いただき、「最終承認待ち」となっている取引については引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作(>>>> P.79 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認の場合、一次承認を行った取引についてはさらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った取引の場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。
- ▶「エラー取引一覧」に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.82 参照

# 8. 各種管理

# 1 概要

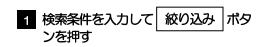
承認パターンの設定やユーザの外為権限の設定などを行うことができます。

# 2 操作手順

# 2.1 操作履歴照会

- 2.1.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [操作履歴] > [照 会] を選択します。
- 2.1.2 操作履歴照会画面を表示して、 [絞り込み] を押します。

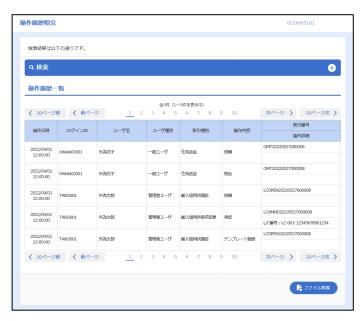




### **\_** ×€

- ▶操作日が1年前までの操作履歴が照会できます。
- ▶「全履歴照会」の権限を保有するユーザは、全ユーザの操作履歴を照会することができます。
- ▶操作履歴は、最大3,000件まで表示されます。

### 2.1.3 検索結果の操作履歴が表示されます。

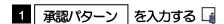


# 2.2 企業情報の照会・変更

# 2.2.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [企業情報] > [照 会・変更] を選択します。

### 2.2.2 企業情報を変更し、 [内容確認] を押します。





業務ごとに「承認なし」/「シングル承認」/「ダブル承認」を選択することが可能です。

2 通知メール を入力する 4

メールの受信要否を設定します。

3 内容確認 ボタンを押す

**I** ⊁ŧ

▶承認パターンによってお取引の申込みまでの操作が異なります。(>>>>> P.7 参照)

承認パターン	説明
承認なし	お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。 依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
シングル承認	お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を 行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
ダブル承認	お客さま社内で2段階の承認 (一次承認→最終承認)を経たうえでお取引の申込みを行う パターンです。 依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を 行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で当金庫へのお申込みが完了しま す。

▶「シングル承認」、または「ダブル承認」から承認パターンを変更する際、お客さま社内で承認が完了していない取引がある場合は、承認パターンの変更はできません。

下記いずれかの対応を行ってください。

- 承認を完了させる
- >>>>> P.78 参照
- ・承認依頼を取り下げる(引戻し) >>>> P.58 参照
- ▶ 朝日外為WEBのお取引に関するメールがご不用の場合、「受信しない」を選択してください。(朝日外為WEBでのお取引について、電子メールでのご連絡を中止します。

ただし、「受信しない」を選択した場合でも、以下の場合に限り、電子メールでご連絡します。

・お客さまのお取扱い業務変更完了時

## 2.2.3 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

## 2.2.4 企業情報の変更は完了です。



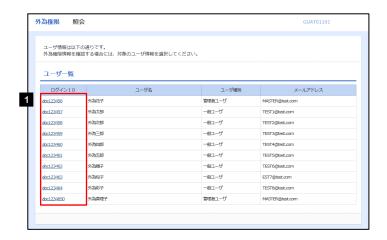
#### 業務選択画面に戻る場合

1 各種管理メニューへ ボタンを押す

# 2.3 外為権限の照会・変更

2.3.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [外為権限] > [照 会・変更] を選択します。

2.3.2 権限を変更するユーザの [ログインID] リンクを押します。



1 ログインID リンクを押す

## 2.3.3 ユーザの情報を確認し、 [変更] を押します。



1 変更 ボタンを押す

## 2.3.4 権限情報を変更し、 [内容確認] を押します。



 権限情報
 を入力する

 チェックした権限が該当ユーザへ付与されます。

 2
 内容確認

ボタンを押す

<u></u> ≭E

▶権限情報の登録内容欄をチェックした場合、以下の機能が利用できます。

登録内容	=¥00		ユーザ	
日本	Description	一般	管理者	
依頼	対象取引の依頼データを作成することができます。	0	0	
照会	自身が作成した取引、または自身が承認者に指定された取引を照会することができます。	0	0	
全取引照会	他ユーザの取引を含むすべての取引を照会することができます。	0	0	
テンプレート管理	テンプレートの登録・変更を行うことができます。>>>>> P.95 <b>参照</b>	0	0	
承認	対象取引の承認操作を行うことができます。>>>>> P.77 参照	0	0	

▶「企業情報の照会・変更」(>>>> P.89)、および「外為権限の照会・変更」(本操作)は、管理者ユーザのみご利用可能です。(一般ユーザはご利用になれません。)

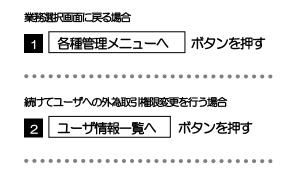
### 2.3.5 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

### 2.3.6 外為取引権限の変更は完了です。





# 9. 便利な機能

1

# テンプレート機能

テンプレートとは同一受取人への仕向送金など、定型的な取引の依頼内容を雛型として登録しておく機能です。登録したテンプレートは次回以降の依頼画面で呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。

#### **y**₹

- ▶テンプレート機能は以下の取引が対象です。
  - ・仕向送金依頼
  - ·輸入信用状開設依頼
- ▶テンプレートは、対象取引ごとに 1,000 件まで保存できます。 保存期限はありません。
- ▶取引選択画面の「テンプレートを登録」ボタン押下で、新規のテンプレートを登録することもできます。
- ▶取引選択画面の「テンプレートの照会・修正・削除」ボタン押下で表示された登録済みのテンプレートを修正・削除することもできます。

# 1.1 テンプレート保存(仕向送金を例とします)

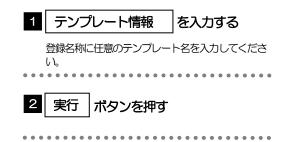
# 1.1.1 依頼結果画面(または修正結果画面、照会結果画面)で [テンプレート保存] ボタンを押します。



1 テンプレート保存 ボタンを押す

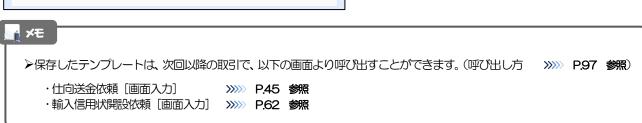
### 1.1.2 登録名称を指定して「実行」ボタンを押します。





### 1.1.3 テンプレート保存の完了です。





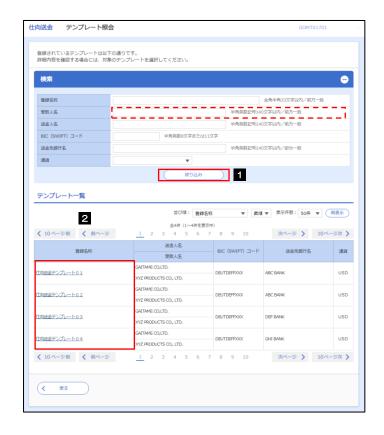
# 1.2 テンプレート読込(仕向送金を例とします)

### 1.2.1 依頼画面で [テンプレート読込] ボタンを押します。



1 テンプレート読込 ボタンを押す

### 1.2.2 一覧より呼び出すテンプレートを選択します。



- 覧の内容を絞り込みたい場合

1 条件を入力して 絞り込み ボタンを 押す

指定した条件すべてに該当するデータに絞り込みます。

2 登録名称 リンクを押す

## 1.2.3 依頼画面にテンプレート内容が読み込まれました。



- ▶日付や金額など、依頼の都度変更となる項目はテンプレート保存対象外となりますので、入力が必要です。 それ以外の項目については、テンプレートの内容が反映されます。
- ▶呼び出したテンプレートの内容を利用して、入力を続行してください。
  - · 仕向送金依頼 [画面入力] >>>>> P.45 参照
  - ·輸入信用状開設依頼 [画面入力] >>>> P.62 参照



# 複写作成

「取引照会」で照会した内容を、複写/再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。

## 複写作成(仕向送金を例とします)

### 2.1.1 照会結果画面で「複写作成」ボタンを押します。



複写作成 ボタンを押す

### 2.1.2 依頼画面に複写内容が読み込まれました。



- ×E
  - ▶複写作成は、以下の取引が対象です。
    - ・仕向送金依頼
    - ·輸入信用状開設依頼
  - ▶複写作成は、依頼権限が設定されたユーザのみご利用いただけます。(照会権限のみ設定されたユーザは、「複写作成」 ボタンは表示されません。) 必要に応じ、操作権限を変更してください。 >>>> P.9.1 参照
  - >日付や金額など、依頼の都度変更となる項目は複写対象外となりますので、入力が必要です。 それ以外の項目については、複写した内容が反映されます。
  - ▶複写作成された内容を利用して、入力を続行してください。
    - · 仕向送金依頼 [画面入力]
- >>>>> P.45 参照
- ·輸入信用状開設依頼[画面入力] >>>>> P.62 参照



# 一時保存

- お取引内容を入力中に作業を中断したい場合、入力途中の内容を保存することができます。作業を再開したい場合は、「作成中取引一覧」から一時保存した内容を呼び出すことができます。 >>>> P.101 参照

### 3.1 一時保存

### 3.1.1 依頼画面(または修正画面)で[一時保存]を押します。

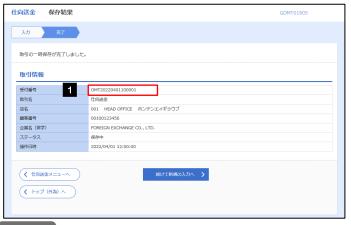




**₩** 

- 一時保存は、仕向送金、輸入信用状開設、輸入信用状条件変更の依頼画面、および修正画面でのみご利用いただけます。
- ▶依頼画面で一時保存した取引は、「作成中取引一覧」から呼び出したのち、修正画面から再度一時保存(上書き再保存)することができます。(再保存後も同様に、「作成中取引一覧」から呼び出したのち再び再保存することができます。)
- ▶1 ユーザにつき、仕向送金、輸入信用状開設、輸入信用条件変更ごとに25 件まで取引を保存できます。
- ▶一時保存された取引の保存期間は、保存した日から1年間です。
- ▶一時保存できない場合、画面の上側にメッセージが表示されますので、確認、および入力内容を修正してください。

### 3.1.2 一時保存の完了です。



1 受付番号を控える 4

**∦** ⊁€

▶作業を再開する際に、「作成中取引一覧」から保存した取引を選択するのに利用します。

# 3.2 作業の再開

- 3.2.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [作成中取引の修正・削除] を選択します。
- 3.2.2 作成中取引一覧画面を表示して、〔受付番号〕リンクを押します。

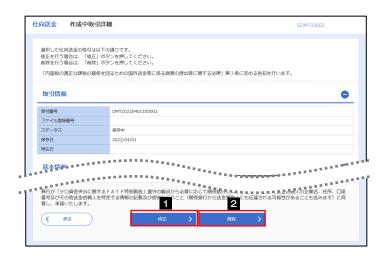


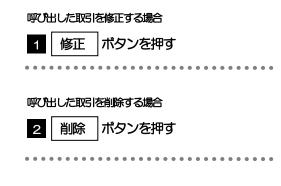
1 一時保存した取引の 受付番号 リンクを押す



- ▶一時保存した取引のステータスは、「保存中」です。
- ▶「作成中取引一覧」については、P.53 をご参照ください。

### 3.2.3 一時保存した取引が呼び出されます。







# 添付ファイルの登録・照会

### 4.1 添付ファイルの登録(仕向送金を例とします)

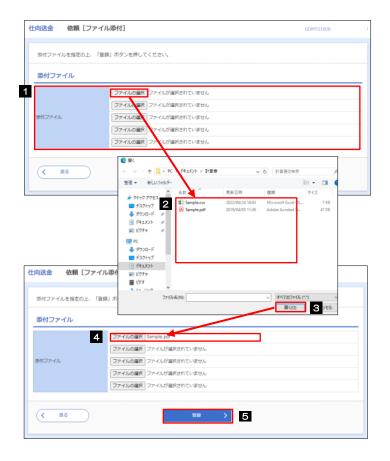
お取引の申込にあたり、必要書類をPDFまたは画像形式のファイルで添付することができます。

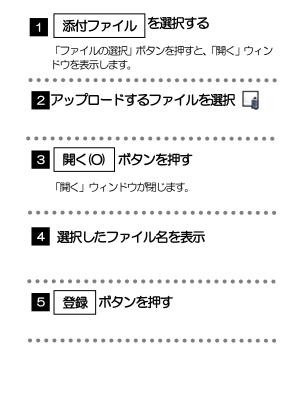
### 4.1.1 依頼画面を表示して、 [ファイル選択] を押します。



1 ファイル選択 ボタンを押す

### 4.1.2 ファイルを指定し、 [登録] を押します。





### <u></u> ≭€

- ▶添付ファイルは、以下の形式が登録可能です。(但し、「HEIC」形式については、WindowsPC では参照できない 形式のため、照会時に「JPEG」形式に変換します\*\*1。)
  - ※1:HEIC 形式とはiPhone (iOS) およびiPad (iPadOS) が採用する画像形式であり、Windows の標準機能ではサポートされないをめ、iPhone/iPad から撮影した画像が添付された場合は、汎用的な画像形式 (JPEG) に変換します。

ファイル形式	拡張子	備考
PDF	.pdf	
JPEG	.jpg	拡張子は「jpg」「jpeg」のいずれも可能です。
UPEG	.jpeg	
PNG	.png	
GIF	.gif	
HEIC	.HEIC	照会時(ダウンロード時)に「JPEG」形式(jpg)に変換します。

- ▶仕向送金の場合は最大5ファイルまで添付可能です。(輸入信用状開設/条件変更は1ファイルのみ)
- ▶ファイル名は50 桁以内(拡張子込み)、ファイルサイズはいずれも5MB以内としてください。
- ▶既に添付ファイルが登録されている場合は、「削除」ボタンが表示されますので、必要に応じて削除してください。
- ▶添付ファイルを差し替えしたい場合は、添付ファイルを削除したのち、再度登録をしてください。

### 4.1.3 添付ファイルが登録されました。





- ▶取引への添付ファイルの登録が完了したら、入力を続行してください。
  - · 仕向送金 >>>>> P.45 参照
  - ·輸入信用状開設 >>>>> P.62 参照
  - · 輸入信用状条件変更 >>>>> P.72 参照

## 4.2 添付ファイルの照会

作成中のお取引やお申込いただいたお取引にお客さまご自身が登録された添付ファイルを照会することが できます。

照会可能な添付ファイルは以下のとおりです。

サービス種類	保存期限
仕向送金	「送金指定日」の1ヶ月後応当日まで
輸入信用状開設	「発行希望日」の1ヶ月後応当日まで
輸入信用状条件変更	「変更指定日」の1ヶ月後応当日まで

<sup>※</sup>保存期間を過ぎたファイルは、照会できません。(画面にはファイル名のみ表示され、リンクを押すことができません。)

#### **y**₹

▶「HEIC」形式で添付したファイルは、照会時に「JPEG」形式に変換されます。(ファイル名が「OO.HEIC」→「OO.HEIC,jpg」に変わります。) >>>> P.103 参照

# 5

## 計算書ファイル(PDF 形式)の照会

お申込いただいたお取引に対して、当金庫が作成した計算書(PDF 形式)を照会することができます。 照会可能な計算書ファイルは以下のとおりです。

サービス種類	保存期限
仕向送金	「送金指定日」の1ヶ月後応当日まで

※保存期間を過ぎたファイルは、照会できません。(画面にはファイル名のみ表示され、リンクを押すことができません。)



## 銀行情報の取得・検索

入力した IBAN コードまたは BIC (SWIFT) コードから、銀行名などの銀行情報を取得することができます。 (BIC (SWIFT) コードや銀行名などを入力して検索することも可能です。) 取得した銀行情報は、画面の入力項目に自動で読み込まれます。

#### **y**₹

- ▶仕向送金依頼時に「送金先銀行」または「経由銀行」を入力する際にご利用いただけます。
  - 仕向送金依頼 [画面入力] >>>>> P.45 参照
- ▶送金先銀行または経由銀行は、以下の方法で入力することができます。

	入力力	ケース		入力項目					入力対象		
入力方法	-BAN採用国	SWIFT加盟英語機関	-B4ZΠ-Ľ	В−О (∅}−止⊢) П−╩	国別銀行コード	銀行名	都市名	国名・支店名など	送金先銀行	経由銀行	說明
(IBANから銀行情報取得)	0	0	•	0	Δ	0	0	0	0	×	IBAN 採用国への送金の場合、受取人口座のIBANコードを入力して取得ボタンを押すと、送金先銀行の BIC (SWIFT)コードや銀行名などが自動で入力されます。
BICから銀行情報取得	×	0	$\triangle$	•	Δ	0	0	0	0	0	IBAN 採用国以外への送金、または経由銀行を指定する場合、該当金融機関の BIC (SWIFT)コードを入力して取得ボタンを押すと、銀行名などが自動で入力されます。
銀行情報を入力して検索する											検索リンクを押して検索条件 を入力することも可能です。 >>>>> P.110 参照
● BICコードから検索	_	0	Δ	•	Δ	0	0	0	0	0	BC(SWIFT)コードでの検 索後、検索結果の一覧から選 択することで、銀行名などが 自動で入力されます。
銀行名・都市名から検索	_	0	Δ	0	Δ	•	•	0	0	0	銀行名・都市名での検索後、 検索結果の一覧から選択する ことでBC(SWFT)コード などが自動で入力されます。
直接入力する	_	×	$\triangleleft$	×	Δ	0	0	0	0	×	送金先銀行が SWFT 非加盟 の場合、銀行情報はすべて直接入力してください。 >>>> P.112 参照

【入力項目欄】●:検索条件として入力、◎:自動取得される項目、○/△/×:その他の入力項目(必須/任意/不可)

- ▶「銀行情報取得」ボタンを押しても取得されない場合や、想定と異なる金融機関が取得された場合は、IBANコードまたはBIC(SWIFT)コードの入力内容を再度ご確認いただくか、「銀行情報を入力して検索」でご対応ください。
- ▶SWIFT 非加盟の金融機関には対応しておりませんので、その場合は「直接入力」でご対応ください。
- ▶経由銀行はSWIFT 加盟が前提となるため、「直接入力」はできません。(任意の非加盟金融機関等は指定できません。) また、「直接入力」ではBIC(SWIFT)コードは指定できません。(入力された場合も無効とします。)
- ▶米国 ABA ナンバーなどの国別銀行コードは取得・検索の対象外ですので、必要に応じて依頼画面から入力してください。

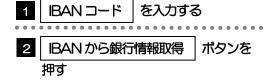
#### **y**₹

- ▶「銀行情報取得」ボタンや「銀行情報を入力して検索」リンクで取得した内容は、その後修正や承認を行った際、またはテンプレート登録を行って依頼画面に読み込んだ際は、その時点での最新状態に自動で更新されます。(銀行名などが変更されていた場合は変更後の内容が表示されます。)
- ▶但し、該当金融機関の統廃合等によりIBANコードやBIC(SWIFT)コード自体が無効となった場合は更新されません(銀行名などが表示されません)ので、その場合はコード内容をご確認のうえ、再度検索などの操作を行ってください。
- ▶「直接入力」を行った場合は、修正/承認操作やテンプレート読込時も入力内容がそのまま引き継がれます。

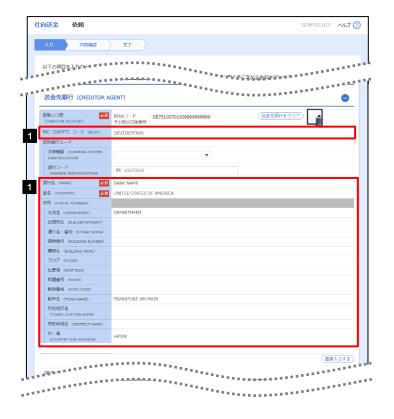
## 6.1 IBANから銀行情報取得

# 6.1.1 IBAN コードを入力し、[IBAN から銀行情報取得]を押します。





## 6.1.2 銀行情報が反映されました。



### 1 銀行情報を反映 🔓

取得したBIC (SWIFT) コード、および銀行名・ 国名・住所が表示されます。

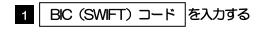
<u> </u> ⊁€

- ➤画面に反映されたBIC(SWIFT)コード、および銀行名・国名・住所は、IBAN コードの入力内容も含め変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」ボタンを押してください。
- ▶国別銀行コードは自動反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。

## 6.2 BICから銀行情報取得

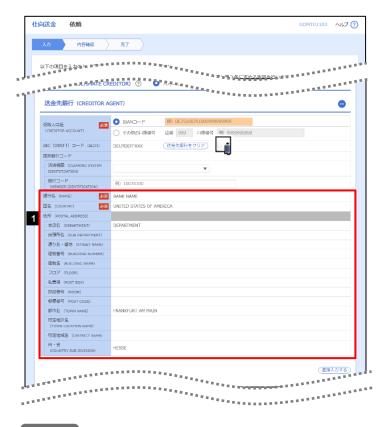
# 6.2.1 BIC (SWIFT) コードを入力し、[BIC から銀行情報取得] を押します。





2 BIC から銀行情報取得 ボタンを押す

## 6.2.2 銀行情報が反映されました。



#### 1 銀行情報を反映 🔓

取得した銀行名、国名および住所が表示されます。

### <u></u> ≭€

- ➤画面に反映された銀行名・国名・住所は、 BIC (SWIFT) コードの入力内容も含め変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」(経由銀行の場合は「経由銀行をクリア」) ボタンを押してください。
- ▶送金先銀行の場合、国別銀行コードは自動反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。(受取人口座についても変更可能です。)
- ▶IBAN コードを入力した場合も「BIC から銀行情報取得」は可能ですが、この場合は入力したIBAN コードとBIC(SWIFT) コード(および自動反映された銀行名・国名・住所)との整合性はチェックされませんので、ご留意ください。

## 6.3 銀行情報を入力して検索

## 6.3.1 [銀行情報を入力して検索する]を押します。



銀行情報を入力して検索するを押す 検索画面に遷移します。

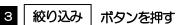
## 6.3.2 検索条件を入力して、[絞り込み]を押します。



## 1 検索方法 を選択する

「BIC コードから検索」または「銀行名・都市名から検索」のラジオボタンを選択します。

2 検索条件を入力します 🔓



検索結果の一覧画面を表示します。

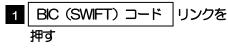
### **∡**₹

- ▶以下の検索条件が指定可能です。
  - ・BIC コードから検索:「BIC (SWIFT) コード」(必須/前方一致)
  - ・銀行名・都市名から検索:「銀行名」(必須/部分一致) および「都市名」(任意/部分一致)
- ▶BIC コードで検索する場合、末尾3桁が「XXX」の11桁コードは検索できません(8桁コードのみ検索対象となります)ので、該当金融機関の本店などを検索する場合は、末尾の「XXX」を除く8桁以内で入力してください。(末尾が「XXX」でない11桁コードは検索可能です。)

なお、「BIC から銀行情報取得」()>>>> P.109 **参照**) では8 桁または11 桁(「XXX」あり) のどちらでも検索可能です。

## 6.3.3 検索結果の一覧より銀行情報を選択します。



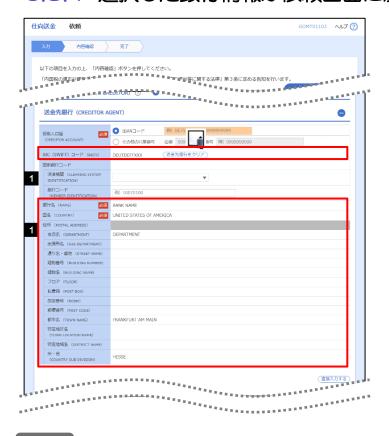


依頼画面に戻ります。

**y**∓

▶一覧の検索結果は100件まで表示されます。

## 6.3.4 選択した銀行情報が依頼画面に反映されました。



#### 1 選択した銀行情報を依頼画面に反映

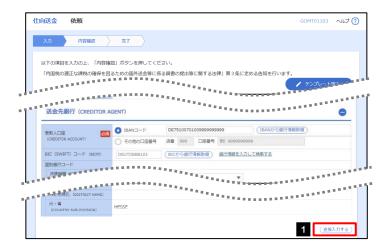
選択した金融機関のBC(SWFT)コード、および銀行名・国名・住所が表示されます。

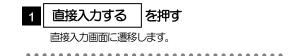
**₩** ¥E

- ➤画面に反映された BIC (SWIFT) コード、および銀行名・国名・住所は変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」(経由銀行の場合は「経由銀行をクリア」) ボタンを押してください。
- ▶送金先銀行の場合、国別銀行コードは反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。(受取人口座についても変更可能です。)
- ▶IBAN コードを入力した場合も「銀行情報を入力して検索」は可能ですが、この場合は入力した IBAN コードと検索結果の BIC(SWIFT)コード(および銀行名・国名・住所)との整合性はチェックされませんので、ご留意ください。

## 6.4 直接入力

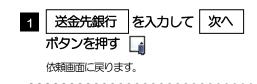
## 6.4.1 送金先銀行欄右下の[直接入力する]を押します。





## 6.4.2 銀行情報を入力して、 [次へ] を押します。

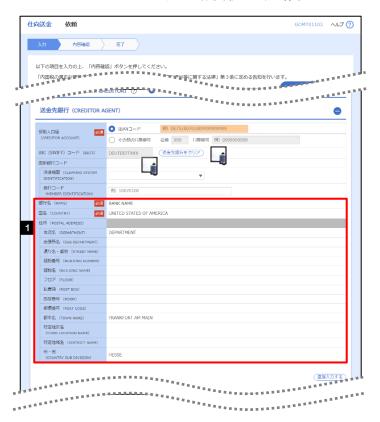






▶BIC (SWIFT) コードは入力できません。(入力欄がありません。)

## 6.4.3 入力した銀行情報が依頼画面に反映されました。



1 入力した銀行情報を依頼画面に反映 🔓

### **₩** ¥€

- ▶反映された入力内容は変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」ボタンを押してください。
- ▶「直接入力する」ボタンを押す前に BIC (SWIFT) コードを入力していた場合、該当の入力内容はクリアされます。 (銀行名や住所の入力内容を優先し、BIC (SWIFT) コードは無効とします。) 「直接入力」は SWIFT 非加盟の金融機関を指定する場合のみご利用ください。

# 10. 印刷・ファイル取得

# 1 印刷

お客さまのお申込内容(申込書)や当金庫が作成した計算書などを PDF 形式ファイルで印刷できます。 印刷できる PDF 帳票は、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	PDF 帳票 の種類	取らしの 選択可否	最大 印刷件数	
仕向送金	申込書印刷	申込書	0	100件	
	一覧印刷	一覧	×	1,000件	
輸入信用状開設・条件変更	申込書印刷	申込書	0	100件	
	一覧印刷	一覧	×	1,000件	

<sup>※1 「</sup>取引の選択可否」欄が"×"(不可)の場合、取引の選択有無に関わらず、すべての取引を一括印刷します。 ただし、一覧印刷については取引ではなく、取引の一覧を印刷します。

<sup>※2 「</sup>取引の選択可否」欄が"O"(可能) の場合、同じページに表示されている取引のうち、選択された取引のみ印刷します。 異なるページに跨って表示された取引を選択することはできません。

<sup>※3</sup> 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序で印刷されます。

# 2 ファイル取得

お客さまのお申込内容(申込書)をファイルとして取得できます。 取得できるファイルは、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	取得ファイル	取引の	最大	取得ファイル の形式		
		の種類	選択可否	取得件数	CSV 形式	XML 形式	
仕向送金	申込ファイル取得	申込データ	0	100件	0	_	
輸入信用状開設・条件変更	申込ファイル取得	申込データ	0	100件	0	_	
管理 ファイル取得		操作履歴データ	×	10,000件	0	_	

- ※1「取引の選択可否」欄が"×"(不可)の場合、すべての取引をファイルに一括出力します。
- ※2「取引の選択可否」欄が"O"(可能)の場合、同じページに表示されている取引のうち、選択された取引のみファイルに出力します。 異なるページに跨って表示された取引を選択することはできません。
- ※3 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序でファイルに出力されます。
- ※4 操作履歴は、画面に表示されていない操作履歴も取得されます。

#### ⚠ 注意

- ▶CSV 形式ファイルを Excel で開いた際、数値項目の桁落ち(先頭のゼロが表示されない)や日付項目の表示崩れなどが発生する場合は、以下の手順をお試しください。(元の CSV 形式を Excel のテキスト形式に変更します。)
  - ①新規のExcelファイルを開きます。
  - ②[データ]タブで、[外部データの取込]>[テキストファイル]を選択します。
  - ③対象のCSVファイルを指定し、[インポート]を押下します。
  - ④[テキストファイルウィザード]で、[カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]を選択し、[次へ]を押下します。
  - ⑤[区切り文字]に[カンマ]を選択し、[次へ]を押下します。
  - ⑥画面下部の[データのプレビュー]で、表示されたデータをすべて選択します。(シフトキーを押しながら末尾の列をマウスクリックすると全選択されます。)
  - ⑦この状態で画面上部の[列のデータ形式]に[文字列]を選択し、[完了]を押下します。
  - ⑧[データの取込]で、[データを返す先を選択してください。]に[新規のワークシート]を選択し、[OK]を押下します。
  - ⑨Exxel ファイルがテキスト形式で表示されますので、必要に応じて[名前を付けて保存]で保存してください。

## 11. パスワードの管理

1 概要

お客さまのパスワード(ログインパスワード、確認用パスワード)の変更手順などについて説明します。 ご自身の状況にあわせて手順をご確認ください。 パスワードはトップページ(管理)から各種操作を行うことができます。

#### ▼ログインパスワード・確認用パスワード

#### ■ご自身のパスワードを変更したい

「利用者管理」からご自身のパスワードを変更してください。>>>> P.119 参照 パスワードの変更には、現在利用されているパスワードを入力する必要があります。

#### ■パスワードが利用停止になってしまった

マスターユーザ、または管理者ユーザへ利用停止の解除を依頼してください。 >>>> P.121 参照 併せて、パスワードの変更も依頼してください。 >>>> P.123 参照 パスワード変更後にログインを行うと「パスワード強制変更」画面が表示されますので、ご自身 が利用されるパスワードに変更してください。 >>>> P.127 参照 ご自身以外にマスターユーザ、または管理者ユーザがいない場合は、当金庫所定の依頼書にてお

#### ■パスワードを失念してしまった

取引店あてご連絡ください。

マスターユーザ、または管理者ユーザヘパスワードの変更を依頼してください。

#### >>>>> P.123 参照

#### ■ログインしたら「パスワード強制変更」画面が表示された

マスターユーザ、または管理者ユーザが登録したパスワードから、ご自身が利用されるパスワードへ変更してください。>>>> P.127 参照

パスワードの変更には、マスターユーザ、または管理者ユーザから連絡されたパスワードを入力する必要があります。

#### ■パスワードの有効期限が切れてしまった

ログインを行うと「パスワード期限切れ」画面が表示されます。>>>> P.128 参照パスワードの変更には、現在利用されているパスワードを入力する必要があります。

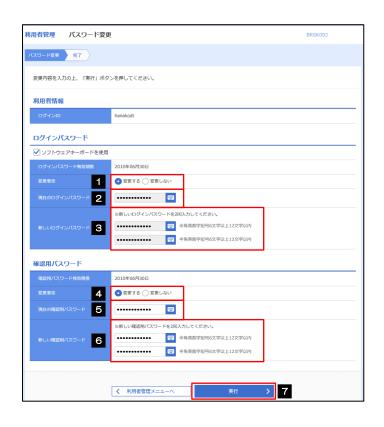
■マスターユーザ、および管理者ユーザがすべて利用停止になってしまった 当金庫所定の依頼書にてお取引店あてご連絡ください。

# 2 操作手順

## 2.1 ご自身のパスワード変更

ご自身のログインパスワード、および確認用パスワードを変更することができます。

- 2.1.1 トップページ(管理)にて、 [利用者管理] > [パスワード変更] を選択します。
- 2.1.2 ログインパスワード、確認用パスワードを変更し、 [実 行] を押します。





<u></u>≭E

- ▶現在ご利用いただいているパスワードを失念された場合は、パスワードの変更は行えません。 マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードの変更をご依頼ください。>>>> P.123 参照
- ▶ 「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、P.6 をご参照ください。

## 2.1.3 ご自身のパスワードが変更されました。





▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更をご検討ください。 有効期限を過ぎてもパスワードを変更されていない場合、ログインした際に「パスワード有効期限切れ画面」が表示されます。>>>> P.128 参照

# 2.2 パスワード利用停止の解除(マスターユーザ/管理者ユーザ)

マスターユーザ、または管理者ユーザは、パスワード利用停止になった他のユーザを解除(利用可能な状態に)することができます。

- 2.2.1 トップページ(管理)にて、 [利用者管理] > [利用者停止・解除] を選択します。
- 2.2.2 利用者停止・解除一覧画面で、利用停止状態を解除したい ユーザを選択し、 [実行] を押します。



1 対象ユーザの □ にチェック

①対象ユーザの 口 は複数チェックできます。② 「選択 口」をチェックするとご自身を除くすべてのユーザが選択されます。

2 変更後サービス状態 の "利用可能" を選択

3 確認用パスワード を入力

操作を行われているご自身の確認用パスワードを入力してください。

4 実行 ボタンを押す

∦ ×E

▶一定回数続けて誤ったパスワードを入力した場合、利用停止の状態になります。

記場
誤ったログインパスワードを6回入力すると、利用停止の状態になります。
利用停止状態は、自動的に解除されることはありません。
誤った確認用パスワードを6回入力すると、利用停止の状態になります。 利用停止状態は、自動的に解除されることはありません。

## 2.2.3 パスワード利用停止が解除されました。



引続き該当ユーザのパスワード変更を行う場合

1 「他ユーザのパスワード変更」の操作手順へお進みください。>>>> P.123 参照

# 2.3 他ユーザのパスワード変更(マスターユーザ/管理者ユーザ)

マスターユーザ、または管理者ユーザは、他のユーザのログインパスワード、および確認用パスワードを変更することができます。

- 2.3.1 トップページ(管理)にて、 [利用者管理] > [利用者情報の管理] を選択します。
- 2.3.2 利用者一覧画面でパスワードを変更したいユーザを選択し、 [変更] を押します。



1 パスワードを変更したいユーザを選択 🖟

2 変更 ボタンを押す

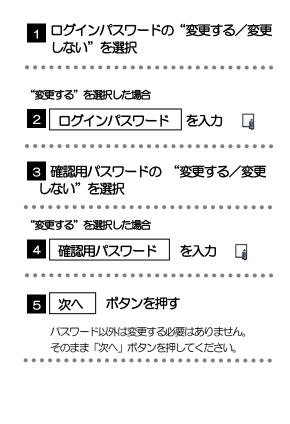
<u></u> ≭E

▶ご自身のユーザを選択されても、パスワードの変更はできません。

・ご自身のパスワードを変更する >>>> P.119 参照

## 2.3.3 ログインパスワード、または確認用パスワードを変更し、 [次へ] を押します。





≭€

- ▶「ログイン時に強制変更する」にチェックした場合、パスワードを変更されたユーザが次回ログインした際に「パスワード強制変更」画面が表示されます。>>>>> P.127 参照
- ▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、**P.6** をご参照ください。

## 2.3.4 利用者変更[権限]画面を表示して、 [次へ] を押します。





## 2.3.5 利用者変更[口座]画面を表示して、 [変更] を押します。



1 変更 ボタンを押す

## 2.3.6 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 確認用パスワード を入力 操作を行われているご自身の確認用パスワードを入 力してください。

2 実行 ボタンを押す

**∦** ⊁€

▶変更した項目は、背景をオレンジ色反転して太字で表示されます。

## 2.3.7 パスワードが変更されました。



パスワードを変更されたユーザが自身のパスワードの変更を行う場合

1 「パスワード強制変更」の操作手順へお 進みください。>>>> P.127 参照

¥€

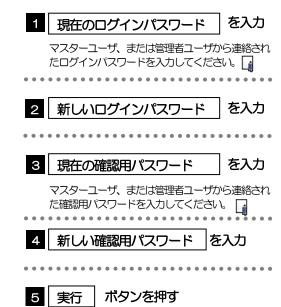
▶パスワードを変更したユーザに、変更後のパスワードを連絡してください。

## 2.4 パスワード強制変更

マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードを変更された状態でログインすると、「パスワード強制変更」画面に変更対象のパスワードが表示されますので、ご自身のパスワードへの変更を行ってください。

## 2.4.1 パスワード強制変更画面に表示された変更対象のパスワードを変更し、「実行」を押します。





**y**₹

- ▶マスターユーザ、または管理者ユーザから連絡されたパスワードを失念された場合、パスワードの変更は行えません。 もう一度、マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードの変更をご依頼ください。>>>>> P.123 参照
- ▶すべてのユーザがパスワードの変更を行えない場合、当金庫所定の依頼書にてお取引店あてご連絡ください。
- ▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、P.6 をご参照ください。

### 2.4.2 ご自身のパスワードが変更されました。



1 確認 ボタンを押す

トップページ(管理)が表示されます。

**₩** ¥E

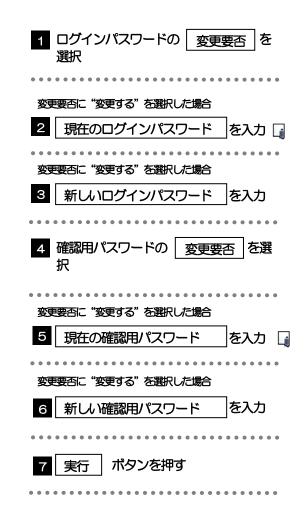
▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更をご検討ください。 有効期限を過ぎてもパスワードを変更されていない場合、ログインした際に「パスワード有効期限切れ画面」が表示されます。>>>> P.128 参照

## 2.5 パスワード有効期限切れ

パスワードの有効期限が切れた状態で、ログインすると「パスワード期限切れ」画面に変更対象のパスワードが表示されますので、パスワードの変更を行ってください。

## 2.5.1 パスワード期限切れ画面に表示された変更対象のパスワードを変更し、 [実行] を押します。





**y**∓

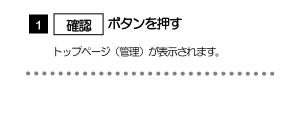
▶現在ご利用いただいているパスワードを失念された場合は、パスワードの変更は行えません。 マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードの変更をご依頼ください。>>>>> P.123 参照

▶すべてのユーザがパスワードの変更を行えない場合、当金庫所定の依頼書にてお取引店あてご連絡ください。

▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、**P.6** をご参照ください。

## 2.5.2 ご自身のパスワードが変更されました。







▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更を行ってください。

## 12. メールアドレスの変更



メールアドレスはマスターユーザ、または管理者ユーザにより、トップページ(管理)から変更を行うことができます。(一般ユーザは変更できませんので、マスターユーザ、または管理者ユーザに変更を依頼してください。)

# 2 操作手順

## 2.1 メールアドレスの変更(マスターユーザ/管理者ユーザ)

マスターユーザ、または管理者ユーザは、ご自身、および他ユーザのメールアドレスを変更することができます。

- 2.1.1 トップページ(管理)にて、 [利用者管理] > [利用者情報の管理] を選択します。
- 2.1.2 利用者一覧画面でメールアドレスを変更したいユーザを選択し、「変更」を押します。

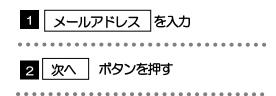


1 メールアドレスを変更したいユーザを選 択

2 変更 ボタンを押す

## 2.1.3 メールアドレスを変更し、 [次へ] を押します。





**₩** ×€

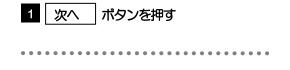
▶「ログインID」、「利用者名」も本画面から変更可能です。

「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の変更は、ご利用状況により、必要な操作が異なります。 >>>>> P.117 参照

▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、P.6 をご参照ください。

## 2.1.4 利用者変更[権限]画面を表示して、 [次へ] を押します。





## 2.1.5 利用者変更[口座]画面を表示して、 [変更] を押します。



1 変更 ボタンを押す

## 2.1.6 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 確認用パスワード を入力 操作を行われているご自身の確認用パスワードを入力してください。
2 実行 ボタンを押す

**₩** ¥ŧ

▶変更した項目は、背景をオレンジ色反転して太字で表示されます。

## 2.1.7 メールアドレスが変更されました。





▶メールアドレスを変更したユーザに、再ログインを依頼してください。